

Centimetres

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

Kodak LICENSED PRODUCT

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

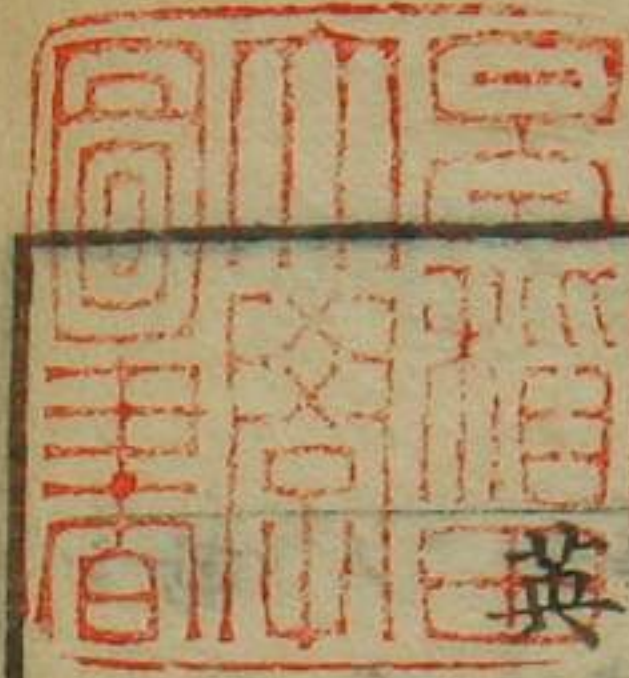
英文典直譯

洋学文庫  
文庫8  
C-707  
1



JAPAN

To-ama



文典

第一 篇

話ノ部分

ソコニ	アル	多ク	ノ	言辭	ガ	於テ	英語	ニ
一	七	五		六		四	二	三
然レ	此	ソコニ	アル	只	總	カノ	違	タル
八		九		十		十一		十二
種類	ガ	ノ	言辭					
十六		十七		十四		十三		
一章	種	々	ノ	種類	乃チ	種類	ガ	ノ
	五			四		五		六
名付	ク	由テ	總	名ニ	ノ	部分	ノ	話
十四		十三		十一		十二		十
辭ハ	部分	ナル	徴	ハ	ス	分	チ	ヲ
二七		一		四		二		五
徴	ハ	ス	語	ヲ	夫レ	故ニ	言	ハ
九		八		十		十四		十三
								十二
								十一

慶應義塾讀本

ヒ子ヲ氏

原板 英文典直譯

明治三年 五月新刊

尚古堂發兌

57042

徴ハス分チヲノ語  
十八 十七 十六 十五

シ使テ余輩ヲ今吟味此等ノ部分ノ話シ  
=五 一 三 十二 四 七 六 五

乃チ分チヲノ語  
八 十一 十九

第一 實名詞

何ヲ為スカ辞ハ實名詞ナル徴ハスヲ  
三 五 二 四

二章 辞ハ實名詞ナル徴ハス名ヲ  
二 一 四 三

カラニハ辞ガ實名詞ナル徴ス名ヲ何デ  
五 二 一 四 三 七

アルカ實名詞ハ  
八 六

三章 實名詞ハアル名デノ或ル物譬ハバ  
一 五 四 三 二 六

ハスリ童男ヲハイヨ書物信  
七 八 九 十 十一

解剖

何デアルカ第一ノ事ハベキル為サ於テ  
八 九 六 七 五 四 三 二

解剖ニ

四章 第一ノ事ハベキル為サ於テ解剖ニ  
六 七 五 四 三 二 一

アルベク説ク如何ナルカラ部分デノ話シ  
十七 十六 十五 十四 十三 十二 十一 九

辞ハアル  
八 十三

一 馬ハ馳ケル

(ホラルスハアル實名詞デ如何トナレバ故ニ  
一 三 二 四 八

其ハアル名デ)  
五 七 六

二 ウリアムハアル遊テハ犬ハ走ル早ク  
一 三 二 一 三 二

三 マアリハ夕行ヒ九 牝牛ハ與ル乳汁ヲ  
一 三 二 一 三 二

四 アンハ留ル茲ニ十 雌雞ハ食ス穀物ヲ  
一 三 二 一 三 二

五 童男ハ アル 學デ 十一 木ハ 持ツ 葉ヲ  
一 三 二 一 三 二

六 童女ハ アル 話シテ 十二 家ハ 持ツ 入り口ヲ  
一 三 二 一 三 二

七 子供ハ アル 病デ 十三 車ハ 行クニテ 輪  
一 三 二 一 四 三 二

ドノ様ニシテ 得ルカ 實名詞ハ サレ 分別  
一 十 二 九 八

カラ 他ノ 部分ノ 話シ  
七 五 六 四 三

五章 由テ 其レノ 意味ニ 其ハ アリツ  
三 一 二 四 九

イツデモ 名デ ノ 或ル物 譬ヘバ 林檎 男 智慧  
五 八 七 六 十 十一 十二 十三

固有 及ビ 普通 名詞

何ヲ 為スカ 辞ハ 固有ナル 徴ハ スヲ  
三 五 二 一 四

六章 辞ハ 固有ナル 徴ス 固有 乃チ 固有ヲ  
二 一 六 三 四 五

何デ アルカ 固有 名詞ハ  
一 二

七章 固有 名詞ハ アル 名デ 固有ノ 二  
一 二 七 六 五 四

物 譬ヘバ ジョシニ ヨルク ナハイヨ  
二 八 九 十 十一

(名ハ ジョシナル アル 固有デニ 或ル 格段  
ハ 十 八 七 六 三 四

ナル 人ニ ヨルクナルニ 格段ナル 都會  
五 九 十一 十二

而シテ ナハイヨナルニ 川 或ハ 州)  
十六 十七 十九 廿 廿一

ドノ様ニ 為スカ 固有 名詞ハ 常ニ 始メルヲ  
一 六 五 三 四 五

八章 固有 名詞ハ イツデモ 始メル 以テ  
一 二 三 七 六

頭ラ 文字ヲ  
四 五

何ヲ 為スカ 辞ハ 普通ナル 徴ハ スヲ  
三 五 二 一 四

九章 辞ハ 普通ナル 徴ハ ス 一般ヲ  
一 二 三 四 五

何デ アルカ 普通 名詞ハ  
三 四 一 二

十章 普通 名詞ハ アル 通稱 乃チ 名デ  
一 二 十一 三 四 五 十

普通ノ 二 多ノ 別々ノ物 譬ハ 童男 男 川  
九 八 六 七 十二 十三 十四 十五

(ソコニ アル 多クノ 童男ガ 於テ 世界ニ  
一 六 四 五 三 二

然レ氏 名ハ 童男ナル アル 普通デ 二 彼等  
七 九 八 十四 十三 十二 十一

總テ 左様ニ ソコニ アル 多ノ 男 及ビ 川ガ  
十 十五 十六 廿一 十七 十八 十九 廿

然レ氏 名ハ 男 及ビ 川ナル アル 普通デ 二  
廿二 廿六 廿七 廿四 廿五 三十一 三十 廿九

彼等 總テ)  
廿八 廿七

何時 爲スカ 固有名詞ガ ニナルヲ 普通  
一 七 二 三 六 四

名詞  
五

十一章 固有名詞ガ ニナル 普通 名詞 片ニ  
一 二 五 三 四 十

彼等ガ ラルハ 用ヒ 向テ 許多ノ 人 或ハ 物ニ  
六 十三 十二 十一 七 八 九 十

譬ハバ ゼエムシス 等ソソニス 亞来リ人  
十八 十九 廿

西班牙人  
廿二

## 第二 代名詞

何ヲ 爲スカ 辞ハ 代名詞ナル 徴スヲ  
三 五 二 一 四

十二章 辞ハ 代名詞ナル 徴ハス 代ハリノ  
二 九 五 四

實名詞 乃チ ノ代リヲ 實名詞  
三 六 八 七

若シナラバ 代ハリニ ノ云フヲ アレスハ  
十一 廿 十 九 八 五

アルト 幸ヒニ ガ故ニ 云 アレスハ アル 善ク  
七 六 四 一 三 二

余輩ガ 云フヲ アレスハ アルト 幸ニ ガ故ニ  
十二 廿一 十七 十九 十八 十六

彼ハ アルハ 善ク 如何ナル 辞ヲ 爲スカ 余輩ガ  
十三 十五 十四 廿二 廿三 三十 廿四

用ニルヲ 代ハリニ ノ 實名詞 云 アレスナル  
廿九 廿八 廿七 廿六 廿五

返答 七 卅一 卅二

何ント デアロヲカ 余輩ハ 名付ル ヒイヲ  
三 五 一 四 二

代名詞ト如何トナレバ故=其ハ=代ハル  
= 六 三 五

實名詞  
四

何デアルカ代名詞ハ  
= 三

十三章 代名詞ハアル辞デ夫ハ所ノラハ  
= 三 二 四 十 九

用ヒ代ハリ=ノ實名詞譬ヘバ云アレシハ  
八 七 六 五 十三 十四

アル章=如何トナレバ故=彼ハアル善ク  
十六 十五 十七 十八 十九

若シナラバ余ガ云フ付テマアリ=彼ノ女ハ  
一 九 二 八 四 三 五

讀ムトヨクドレガアルカ代名詞デ  
七 六 十 十一

シイガアル代名詞デ如何トナレバ故=其ハ  
一 三 二 四 九 五

=代ハル實名詞マアリナル  
八 七 六

若シナラバ余ガ云フ付テ犬=其ガ吠ルト  
一 八 二 七 四 三 五 六

ドレガアルカ代名詞デ  
九 十一 十

イトガアル代名詞デ如何トナレバ故=其ハ  
= 三 二 四 十 五

ラル、用ヒノ代リ=實名詞ドグナル  
十 九 七 六

若シナラバ余ガ云フ付テ或ル子供=彼等ハ  
一 十一 二 十 五 三 四 六

行クトニ學校ドレガアルカ代名詞デ  
九 八 七 十二 十四 十三

ゼイガアル代名詞デ如何トナレバ故=  
一 三 二 四 九

其ハ=代ハル實名詞ナルドレヌナル  
五 八 七 六

若シナラバ於テ話スニ=指ナシ代リ=  
十一 十七 四 三 二 一 十

ノ云フヲ指ラシハ子バナラヌト行カ余ガ  
九 八 五 七 六 十二

云フ汝ハ子バナラヌト行カドレガアルカ  
十六 十三 十五 十四 十八 廿

代名詞デ  
十九

ニイガアル代名詞デ如何トナレバ故=其ハ  
一 三 二 四 十三 五

ラル、用ヒノ代リ=名ノ人話シカケラレタル  
十二 十一 十 九 八 七 六

若シナラバ 汝ガ 云フ 余ハ デアロト 行ク  
四 七 五 六 一 三 二

如何ナル 代名詞ヲ 為スカ 汝ガ 用ユルヲ 代リニ  
八 九 十七 十 十六 十五

ノ 汝 自身ノ 名 返答 アト  
十四 十一 十二 十三 十八 十九

若シナラバ 於テ 話スニ 付テ 言フニ 及ヒ  
八 十四 七 六 五 二 三

汝自身ニ 一緒ニ 汝ガ 云フ 余輩ハ デアロト  
四 一 九 十三 十 十二

行ク 如何ナル 代名詞ヲ 為スカ 汝ガ 用ユルヲ  
十一 十五 十六 十七 十七 十三

代リニ ノ 汝 自身ノ 名 返答 ウ井  
廿二 廿一 十八 十九 廿 十五 十六

デアロトカ 汝ハ 今 再言スル 代名詞ヲ  
五十三 一 二 四十二 三十一

夫ヲ所ノ 汝ガ 夕 習フ  
六 十 七 九 八

十四章 余 余輩 汝 彼 彼ノ 女 其 彼等  
一 二 三 四 五 六 七

第三 形容詞

何ヲ 為スカ 辞ハ 形容詞ナル 徴ハスヲ  
三 五 二 一 四

十五章 言辞ハ 形容詞ナル 徴ハス 夫ハ  
二 一 六 三

能フヲ 附加ヘ  
五 四

何ト テアロトカ 余輩ハ 名付ル 加様ナル  
十三 十五 十二 十四 十

言辞ヲ 通リ 甘キ 酸キ 大ナル 白キ 總テノ  
一 九 一 二 五 四 五

或ル ニツノ 等ノ  
六 七 八

十六章 形容詞ト 如何トナレバ 故ニ 彼等ハ  
一 二 十五 五

附加ヘ 或ル物ヲ 意味ノ 格段ナル 實名詞  
十八 十七 十六 十五 十四 十三 十二 十一

與ニ 夫レト所ノ 彼等ガ ラル、 用ヒ 而ソ  
七 六 十一 八 十 九 十九

加様ニ 名状シ 乃チ 名状スル 其ヲ  
廿 廿二 廿三 廿四 廿一

何デ 然ラバ アルカ 形容詞ハ  
三 一 四 二

十七章 形容詞ハ アル 辞デ 夫ハ所ノ ラル、  
三十四 二十三 四十二 十一

用ヒ 爲メニ 名状スル 實名詞 或ハ 代名詞ヲ  
十 九 八 五 六 七

譬ヘバ 小キ 林檎 大ナル 人ニ個ノ 木 彼ハ  
十五 十六 十七 十八 十九 廿 廿一 廿二

アル 善ク  
廿四 廿三

何ヲ 爲スカ 汝ハ 曉解スルヲ 由テ 言辞ニ  
十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

名状スルナル タル 用ラレ 於テ 此ノ 解明シニ  
七 六 五 四 三 二 一

十八章 其ハ 概ハス 一 変化スル 意味ヲ  
一 九 四 五 二

一ヲ 限リ 或ハ 廣ゲル  
八 五 六 七

アヌ エ 及ビ 不井  
一 二 三 四

於テ 句ニ アヌ アブルナル ドレガ アルカ  
四 三 一 二 五 七

形容詞デ  
六

二十章 アヌガ アル 形容詞デ 如何トナレバ  
一 三 二 四

故ニ 其ハ 名状スル 實名詞ヲ アブルナル 由テ  
十六 五 十五 十四 十三 十二

限ル一ニ 其ノ 用ヒテ ニ 一個ノ 林檎  
十一 六 七 十 八 九

カラ 何ニ ル、カ 辞ハ アヌナル 導カ  
二 八 四 三 五

廿一章 アヌハ ル、導ビカ カラ 昔ノ 辞  
一 十 九 八 六 七

エヌナル (同様 通り アヌノ) 由テ 脱去スル一ニ  
五 三 二 一 四 三

一ヲ 而ノ 其ガ ル、時トシテハ マダ 其外  
二 十 十一 九 十三 十四 十五

変化サ ニ エ  
十八 十七 十六

於テ 句ニ 不井 マヌナル トレガ アルカ  
四 三 一 二 五 七

形容詞デ  
六

廿二章 不井ガ アル 形容詞デ 如何トナレバ  
一 三 二 四

故ニ 其ハ 名状スル 實名詞ヲ マヌナル 由テ  
十七 五 十六 十五 十四 十三

限ル一ニ 其ノ 用ヒテ ニ 或ル 格段ナル 男  
十二 十一 十 九 八 七



カラ何ニルカ辞ハズ井ナル導ビカ  
二 一 六 四 三 五

廿三章 導カカラ辞トナル  
一 六 五 四 三 二

ズ井マヌハ徴ス甚ダ近ク同ジトナリ  
七 八 九 十 十一 十二

サトマヌノ  
十一 十二

如何ナル別ノ名ガラルカ與ヘニ形容詞  
一 二 三 十一 十 九

アヌ或ハエ及ビズ井ナル  
四 五 六 七 八

廿四章 形容詞ハアヌ或ハエ及ビズ井  
六 一 二 三 四 五

ナルラルホタ名付ケ冠詞ト  
十 七 九 八

何時ラルカアヌガ用ヒ而ソ何時エガ  
一 四九 二 三八 五 六 七

廿五章 何時カハアヌ或ハエガアル  
一 十 二 三 四 九

適當ナル形容詞デコトニ用ユル若シナラバ  
七 八 六 五 十一 十三

次ギノ辞ガ始マル以テ音ヲノ各個ノ  
十二 十三 三十一 三十一 三十三 三十二 三十一 三十一

母韻 エ | イ | ア | ナ | ヌ | ナル 或ハノ  
十九 十四 十五 十六 十七 十八 廿四 廿九

二重韻 ナウ 或ハ オイナル アヌガラル、用ヒ  
廿八 廿五 廿六 廿七 三十四 三十六 三十五

譬ハ アヌ アヌ アヌ アヌ エギ アヌ アナル  
三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三

等若シ レバ 然ラザ エガラル、用ヒ 譬ハ  
四十五 四十七 四十八 四十八 五十 四十九 五十一

マヌ エ ハウ ス 等  
五十二 五十五 五十五

### 第四 動詞

廿六章 動詞ハアル辞デ夫ハ所ノ徴ス  
一 十 九 三 八 七

動作 或ハ 存在ヲ 譬ハ 余ハ 騎ル 汝ハ  
四 八五 六 十一 十二 十三 十四

歩行マル 余輩ハ 留マル  
十五 十六 十七

何ヲ 為 スカ 辞ハ 動詞ナル 徴ハ スヲ  
三 五 二 一 四

廿七章 辞ハ 動詞ナル 徴ハ ス 辞ヲ  
二 一 四 三

何故ニ ラル、カ 此ノ 部分ハ ノ 話シ 名付ケ  
一 十 四 五 三 二 九

辞乃チ 動詞ト  
六 七 八

廿八章 ガ 故ニ 其ハ アル 最モ 緊要ナル  
八 一 七 四 五

言辭デ 於テ 語ニ 如何トナレバ 故ニ ソコニ  
六 三 二 九 十九 十

能ハ アリ 一ツノ又 全 文章ハ 無シニ 其レ  
十七 十六 十三 十八 十五 十二

ドノ様ニシテ 得ルカ 動詞ハ サレ 分別 カ  
一 十 二 九 八 七

他ノ 部分 ノ 話シ  
五 六 四 三

廿九章 由テ 其ノ 意味ニ 作業 或ハ  
七 五 六 四 一 二

存在 又タ 由テ 其レノ 為スニ 意味ヲ 興  
三 八 十八 十五 十七 十六 十

實名詞 或ハ 代名詞 前ノ 其ノ 譬ヘバ 男ハ  
十一 十二 十三 十 九 十九 十

食ス ヲナルシハ 騎ル 彼ハ 坐ス 余ハ アル  
十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七

等  
十八

自達 及ビ 不達 動詞  
一 三 四 二五

何ヲ 為スカ 辞ハ 自達ナル 徴スヲ  
三 五 二 一 四

三十章 辞ハ 自達ナル 徴ス 夫ハ 能フヲ  
二 一 六 五 五

達レ  
四

何デ アルカ 自達 動詞ハ  
三 四 一 二

三十一章 自達 動詞ハ アル 物デ 於テ  
一 二 三 四 五

夫ニ 所ノ 働キガ 達スル カラ 夫レ 夫ハ 所ノ  
四 五 六 七 八 九 十

働クニ 或ル物 夫ハ 所ノ ル、働カ 譬ヘバ  
九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

トオマスハ 食ス 林檎ヲ  
廿五 廿七 廿八

(コ、デハ 働ガノ 食スルヲ 達ス カラ トオマス  
一 四 三 二 九 六 五

= 追 林檎)  
八 七

何ヲ為スカ辞ハ不達ナル徴スヲ  
三 五 二 一 四

三十二章 辞ハ不達ナル徴ス不達ヲ  
二 一 五 三 四

何デアルカ不達動詞ハ  
三 四 一 二

三十三章 不達動詞ハアル物デア夫ハ所ノ  
一 二 四十九 三十八 五十一

頭ス働ヲシテザルト達セ但レ終ルト  
十 十六 六 九 十八 八 七 十一 十四

於テ働者ニ譬バトオマスハ歩行スソコデア  
十三 十二 廿 廿一 廿二 廿三

働ガノ歩行スルヲ指ヒマカ何ニモニ又ノ外  
廿六 廿五 廿四 三十 廿九 廿八

トオマス便チ其ガ終ル於テ彼ニ或ハ  
廿七 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七

其ガ言出ス存在ヲ譬ハ余ハアル  
三十八 四十 三十九 四十一 四十二 四十三

第五 副詞

何ヲ為スカ辞ハ副詞ナル徴スヲ  
三 五 二 一 四

三十四章 辞ハ副詞ナル徴スニヲ動詞  
二 一 五 四 三

何デアルカ副詞ハ  
二 三 一

三十五章 副詞ハアル辞デア夫ハ所ノラルハ  
一 三十六 二十五 四 十四 十二

用ヒ為ニ名状スル動詞形容詞或ハ別ノ  
十一 十 九 八 七 六

副詞ヲ譬ハ彼ハ談ス利口ニ彼ハアル  
九 十七 十八 廿 十九 廿一 廿四

甚ダ利口ニ彼ハ働ク甚ダ利口ニ  
廿二 廿三 廿五 廿八 廿六 廿七

何故ニラルカ此ノ部分ハノ話シ名付ケ  
八 四 五 五 二 七

副詞ト  
六

三十六章 如何トナレバ故ニ其レノ重ナル  
一 十七 二 三

功用ハアルニク附加ニ或ハ意ヲニ動詞  
四 十六 十九 七 八 六 五

加様ニシテ名状シテ其ノ意味ヲ  
十二 十五 十三 十四

何デアルカ區別ハ間ノ形容詞而テ副詞ノ  
六 七 五 十四 一 二 三

三十七章 形容詞ハ名状スル 實名詞ヲ

副詞ハ名状ス 動詞 形容詞 及ビ他ノ副詞ヲ  
四 十 五 六 七 八 九

ドノ様ニシテ ラル、カ 多ノ副詞ハ 形作  
一 五 二 三 四

三十八章 多ノ副詞ハ ラル、形作 カラ  
一 二 九 八 七

形容詞 由テ 附加ルイニ リイテ 譬ヘバ 遅キ  
六 五 四 三 十 十一

遅ク 速カナル 速カニ 疾キ 疾ク 重キ 重ク  
十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八

夫故ニ 大ナル 數ハ ノ副詞 終ル 於テ リイニ  
十九 廿二 廿三 廿一 廿 廿六 廿五 廿四

### 第六 前置詞

三十九章 前置詞ハ アル 言辭デ 夫ハ所ノ  
一 三十九 二十八 四 廿七

ラル、用ヒ 為ニ 示ス 關係ヲ、ノ實名詞 或ハ  
十六 十五 十四 十三 十二 八 五 六

代名詞ニ 逆ノ 他ノ 辭 譬ヘバ 彼ハ 行キシ  
七 十一 九 十 廿 廿一 廿四

與ニ シヌト ゼムスハ 行キシ ノ代リニ 彼  
廿三 廿二 廿五 廿八 廿七 廿六

何ヲ 為スカ 辭ハ 前置詞ナル 徵スヲ  
三 五 二 一 四

四十章 辭ハ 前置詞ナル 徵ス 置カル、ヲ  
二 一 五 四

前ニ  
三

何故ニ ラル、カ 名ガ 前置詞ナル 與ヘニ  
一 十 五 二 九 八

此ノ部分ノ 話シ  
六 七 五 四

四十一章 如何トナレバ 故ニ 其レハ ル、  
一 十 二 九

一般ニ 置カ 前ニ 實名詞 或ハ 代名詞ノ  
三 八 七 四 五 六

デアロヲカ 汝ハ 與ニル 目錄ヲ ノ重ナル  
七 一 六 五 四 二

前置詞  
三

四十二章 前置詞 九ヲ 上ニ 横切テ 後ニ  
一 二 三 四

逆テ 循テ 中ニ 間ニ 周圍ニ 於テ 前ニ 後ニ  
五 六 七 八 九 十 十一 十二

下ニ 下ニ 外ニ 外ニ 間ニ 中ニ 越ヘテ 由テ  
十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 廿

ニ 拘テ 下ニ ノ 間ニ 取除テ ノ 外 取除ク ノ 外  
廿一 廿二 廿三 廿四 廿五

向テ 自リ 於テ ニ ノ 代リニ ニ モ 拘ラズ ノ  
廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二

カラ 於テ 上ニ カラ ニ 拘テ ニ 付テ 周圍ニ  
三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九

以テ 依テ 全ク 通シテ ニ 迄テ ニ 拘リテ  
四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五

方ニ 下ニ 下ニ ニ 迄テ 上ニ 上ニ 以テ  
四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三

内ニ 外ニ  
五十四 五十五

ヅト セルフ 及ビ ガタガ アル 時トシテハ  
一 二 三 四 五 六

前置詞テ  
六

ニ ル ナイ 及ビ ライキガ ラル、 由テ  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

或人ニ 考ヘ 前置詞ト  
五 六 七

### 第七 接續詞

汝ハ 子バナラヌ 行カ 及ビ 余ハ 子バナラヌ  
一 二 三 四 五 六 七

行カ 或ハ 汝 及ビ 余ハ 子バナラヌ 行カ  
八 九 十 十一 十二 十三 十四

ドノ 辞カ 連續 スルカ 彼等ヲ 返答 及ビ  
十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二

デアロヲカ 汝ハ 聯合スルニ 文章ヲ 童女ハ  
二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九

来リシ 童男ハ 停リシナル  
三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五

童女ハ 来リシ 然レバ 童男ハ 停リシ  
三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二

ドレガ アルカ 接續 詞テ 返答 不ト  
四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九

何ヲ 為 スカ 辞ハ 接續 詞ナル 徴スヲ  
五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六

四十三章 辞ハ 接續 詞ナル 徴ス 接續 乃チ  
五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三

接續ヲ  
六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十

何ト ラル、カ 加様ナル 辞ハ 通リ アステ  
七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七

及ビ 名付ク

二 三 八

接続詞

何デ アルカ 接続詞

二 三

四十四章 接続詞ハ アル 言辞デ 夫ハ所ノ

三十四 二 十三 四 十二

ラル、用ヒ 為ニ 接続ナル 辞 或ハ 文章ヲ

十一 十 九 八 五 六 七

譬ハ 彼 及ビ 余ハ 子バナラヌ 行カシラジハ

十五 十六 十七 十八 十九 廿一

アル 大高ク 然レ ウレハ アル ヨリ文高ク

廿三 廿二 廿四 廿五 廿七 廿六

デアロヲカ 汝ハ 興ル 目錄ヲ 重ナル

七 一 六 五 四 二

接続詞

三

四十五章 接続詞 及ビ 縦令ヒ云々ト 虽レ

二

亦夕 通り 如何トナレバ云々スル故ニ 俱テ 然レ

三 四 五 六 七

或ハ 云々スルニ非レバ 蓋シ 若シ云々スルナラバ

八 九 十 十一

云々セ又為ニ 云々セヌ 亦云々セヌ ダケレレ

十二 十三 十四 十五

或ハ 若シ云々スルナラバ カラニハ 夫レ故ニ

十六 十七 十八 十九

夫レデモ 云々ヨリ 云々云フ 然ラバ 夫レ故ニ

廿 廿一 廿二 廿三 廿四

云々スルトハ 虽レ 云々スルニ非レバ 其故ニ

廿五 廿六 廿七

云々スルトモ 然レレ

廿八 廿九

### 第八 間投詞

四十六章 間投詞ハ アル 言辞デ 夫ハ所ノ

三十四 二十三 四 十二

ラル、用ヒ シテ 叫ビト 為ノ 言出ス 感動ヲ

十 九 八 七 六 五

譬ハ 才、徳 嗚呼 余ノ 子供

十五 十六 十七 十八 十九 廿

何ヲ 為スカ 辞ハ 間投詞ナル 徴スヲ

廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八

四十七章 辞ハ 間投詞ナル 徴ス 或ル物ヲ

廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四

投込マレタル間ニ

四 三

何故ニラル、カ此ノ部分ハノ話シ左様ニ

一 八 四 五 三 二 六

名付ケ

七

四十八章 如何トナレバ故ニ其レガル、

一 十 二 十

時トシテハ投込マノ間ニ他ノ部分ノ

三 九 八 六 七 五

文章 譬ヘバ余ノ用友ハ嗚呼アル死テ

四 十二 十三 十四 十五 十七 十八

デアロヲカ汝ハ興ル目錄ヲノ重ナル

七 一 六 五 四 二

間投詞

三

四十九章 間投詞 サヤウナラアラサテモ

一 二 三

ア、ア、ノケエ、ア、目出度ヲイエヘシ

四 五 六 七 八 九 十 十一

マ、アレ黙レホラエ、ト黙レヤアヤア

十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

ホニニ御覽御覽ヲ、ア、エ、エ、

廿 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六

ラル、カ別ノ言辞がイツカ用ヒシテ

七 一 二 三 六 五

間投詞ト

四

五十章 他ノ部分がノ話シラル、時トシテ

三 四 二 一 九 五

用ヒシテ間投詞ト譬ヘバ動詞ベゴヌ

ハ 七 六 十 十三 十一

バホルドナル 實名詞 メルシイナル 形容詞

十二 十五 十四 十七

ストレヌジナル 等

十六 十八

第二篇

部分ノ話

彼等ノ持物及ビ關係

余輩ハ夕吟味シ種々ノ部分ヲノ話シ  
一 十四 十三 九 十二 十一 十

左様ニ通りノ分別スル彼等ヲカラ互ヒ  
八 七 六 五 二 四 三

余輩ハデアロテ今鮮明ス彼等ノ持チ物  
十五 廿七 十六 廿六 十七 十八

及ビ或物ヲノ彼等ノ關係ニ迄ノ互ヒ  
十九 廿五 廿四 廿二 廿三 廿一 廿

幾個而ノ何ンデアルカ部分ハノ話シ  
七 八 九 十 六 五 四

於テ英語ニ  
三 一 二

八個即チ

一 實名詞

五 副詞

二 代名詞

六 前置詞

三 形容詞

七 接續詞

四 動詞

八 間投詞

何ガル、カ徴ハサ由テ持物ニノ部分  
七 九 八 六 五 四 三

ノ話シ  
一

五十一章 夫レ夫ハ所ノ屬スルニ其レ  
一七 二 六 五 四 二

學ハバ數及ビ格ニノ實名詞法及ビ時  
八 十一 十二 十三 十 九 十六 十七 十八

二ノ動詞等  
十五 十四 九



第一 實名詞

其レノ 持物 及び 關係

(collective)

何デ アルカ 聚合 名詞ハ

五十二章 凡ニ 普通 名詞ガ 表ス 許多ヲ

ノ 人 或ハ 物 考ヘラレタル シテ 一体ト 其ガ

ラル、 名付ケ 聚合 名詞ト 譬ヘバ 國人 會

群集

何デ アルカ 文章ハ

五十三章 文章ハ アル 集デノ 辞 為所

十分ナル 意味ヲ 譬ヘバ 生命ハ アル 短ク

如何ナル 持物ガ 屬スルカニ 實名詞

五十四章 人稱 性 數 及び 格

人稱

何テ アルカ 人稱ハ タル 用ラレニ 實名詞

五十五章 人稱ハ アル 區別デノ 實名詞

拘テ 人 話ス所ノ 話シカケラレタル 或ハ

話シカレタル

幾個ノ 而ノ 如何ナル 人稱ヲ 為カ 實名詞ハ

持ツヲ

五十六章 實名詞ハ 持ツ三ツノ 人稱ヲ

名付ラレタル 一人稱 二人稱 三人稱ト

何時 アルカ 實名詞ガ 於テ 一人稱ニ

五十七章 實名詞ガ アル 於テ 一人稱ニ

其<sub>五</sub>が表<sub>一</sub>ス人<sub>四</sub>ヲ話<sub>三</sub>ス所<sub>二</sub>ノ譬<sub>十一</sub>へバ余<sub>十三</sub>

アレキサンドルナル<sub>十二</sub>アル<sub>十七</sub>帝<sub>十六</sub>テノ<sub>十五</sub>魯西亞<sub>十四</sub>

何時<sub>一</sub>アルカ<sub>六</sub>實名詞<sub>二</sub>が於<sub>五</sub>テニ<sub>三</sub>人稱<sub>四</sub>

五十八章 實名詞<sub>六</sub>がアル<sub>十</sub>於<sub>九</sub>テニ<sub>七</sub>人稱<sub>八</sub>

其<sub>五</sub>が表<sub>一</sub>ス人<sub>四</sub>ヲ話<sub>三</sub>シカケラレタル<sub>二</sub>譬<sub>十一</sub>

汝<sub>十三</sub>ハアレキサンドルナル<sub>十二</sub>アル<sub>十七</sub>帝<sub>十六</sub>テノ<sub>十五</sub>魯西亞<sub>十四</sub>

何時<sub>一</sub>アルカ<sub>六</sub>實名詞<sub>二</sub>が於<sub>五</sub>テ三<sub>三</sub>人稱<sub>四</sub>

五十九章 實名詞<sub>八</sub>がアル<sub>十二</sub>於<sub>十一</sub>テ三<sub>九</sub>人稱<sub>十</sub>

其<sub>七</sub>が表<sub>一</sub>ハス人<sub>六</sub>或<sub>三</sub>ハ物<sub>四</sub>ヲ話<sub>五</sub>サレタル<sub>二</sub>

譬<sub>十三</sub>ハアレキサンドルハ<sub>十四</sub>アリシ<sub>十八</sub>帝<sub>十七</sub>テノ<sub>十六</sub>魯西亞<sub>十五</sub>

解剖

何<sub>五</sub>デアルカ<sub>六</sub>第二<sub>三</sub>段<sub>四</sub>ハ於<sub>一</sub>テ解剖<sub>二</sub>

六十章 第二<sub>三</sub>段<sub>四</sub>ハ於<sub>一</sub>テ解剖<sub>二</sub>ニアル<sub>九</sub>ベク

解明<sub>八</sub>ス持物<sub>七</sub>ヲ人<sub>六</sub>辭<sub>五</sub>便<sub>十一</sub>チ若<sub>十二</sub>シテラバ<sub>十三</sub>其<sub>十四</sub>ガ

アル<sub>十五</sub>實名詞<sub>十四</sub>デバク<sub>十三</sub>與<sub>十二</sub>ニ其<sub>十一</sub>ノ人稱<sub>十</sub>性<sub>九</sub>等<sub>八</sub>ヲ

若<sub>十四</sub>シテラバ<sub>十五</sub>動詞<sub>十六</sub>其<sub>十七</sub>ノ法<sub>十八</sub>時<sub>十九</sub>等<sub>二十</sub>ヲ

一<sub>二</sub>余<sub>三</sub>ハシヨ<sub>四</sub>スナル<sub>五</sub>聞<sub>六</sub>シ大<sub>七</sub>聲<sub>八</sub>ヲ

アイ<sub>一</sub>ハアル<sub>二</sub>代名詞<sub>三</sub>デガ故<sub>四</sub>ニ其<sub>五</sub>レハ

其<sub>九</sub>ハ代<sub>八</sub>ル名<sub>七</sub>ノ人<sub>六</sub>話<sub>五</sub>ス所<sub>四</sub>ノ

シヨ<sub>五</sub>ハアル<sub>六</sub>實名詞<sub>七</sub>デガ故<sub>八</sub>ニ其<sub>九</sub>ハアル<sub>十</sub>

名<sub>十一</sub>デ固有<sub>十二</sub>テガ故<sub>十三</sub>ニ其<sub>十四</sub>ハアル<sub>十五</sub>

名<sub>十一</sub>デノ一人<sub>十二</sub>一人<sub>十三</sub>稱<sub>十四</sub>テガ故<sub>十五</sub>ニ

其<sub>十六</sub>ハアル<sub>十七</sub>名<sub>十八</sub>テノ人<sub>十九</sub>話<sub>二十</sub>ス所<sub>二十一</sub>ノ

ヒールドハ アル 動詞デ ガ故ニ 其ハ 徴ス  
一 三九<sup>十</sup> 二八 七 四 六

働フ 自達デ ガ故ニ 働ガ 達スル  
五 十三 十二 十 十一

エハ アル 形容詞デ ガ故ニ 其レハ  
一 三九 二八 七 四

名状スル 實名詞ヲ  
六 五

グレートハ アル 形容詞デ ガ故ニ 其レハ  
一 三九 二八 七 四

名状スル 實名詞ヲ  
六 五

ボイスハ アル 實名詞デ ガ故ニ 其ハ アル  
一 三九<sup>十</sup> 二八 七 四 六

名テ 三人稱デ ガ故ニ 其レハ  
五 十四 十五 十三 十

ルハ 話ヲ  
十二 十一

性

何ヲ 為スカ 辞ハ 性ナル 徴スヲ  
三 五 二 一 四

六十一章 辞ハ 性ナル 徴ス 性ヲ  
二 一 四 三

何ヲ アルカ 性ハ タル 併レニ 實名詞  
六 七 五 四 合三 二

六十二章 性ハ 表ハス 區別ヲ 二拘リテノ  
一 五 四 三

義個ノ 而ノ 如何ナル 性ヲ 持ツカ 實名詞  
二 三 四 五 六 一

六十三章 實名詞ノ 持ツ 四ノ 性ヲ 即チ  
一 四 二 五 五

男性 女性 中性 及ビ 普通性  
六 七 八 九 十

何ヲ 為スカ 辞ハ 男性ナル 徴スヲ  
五 五 二 一 四

六十四章 辞ハ 男性ナル 徴ス 男ヲ  
二 一 四 三

如何ナル 實名詞ガ アルカ ノ物デ 男性  
一 二 六 五 三 四

六十五章 名ガ ノ 男 アル ノ物デ 男性  
三 六 二 一 七 六 四 五

男 童 男 息 男  
八 九 十 十一

何ヲ為スカ辞ハ女性ナル徴スヲ  
三 四 二 一 四

六十六章 辞ハ女性ナル徴スヲ  
二 一 四 三

如何ナル實名詞ガアルカノ物デ女性  
一 二 六 五 三 四

六十七章 名ガノ女アルノ物デ女性  
三 二 一 七 六 四 五

譬ヘバ童女女雌鷄  
八 九 十 十一

何ヲ為スカ辞ハ中性ナル徴スヲ  
三 五 二 一 四

六十八章 辞ハ中性ナル徴スドチラデキ  
二 一 四 三

ナキヲ

如何ナル實名詞ガアルカノ物デ中性  
一 二 六 五 三 四

六十九章 實名詞ガ夫ハ所ノ表ハリモス  
一 十三 二 十二 五 十 四 六

男亦夕モ又女アルノモノデ中性譬ヘバ  
三 七 九 十 八 十一 六 四 五 十八

木家尾  
十九 廿 廿一

如何ナル實名詞ガアルカノ物デ普通性  
一 二 六 五 三 四

七十章 實名詞ガ夫ハ所ノ得ルラレ用ヒ  
二 七 世 二 十一 十 九 八

或ハ男或ハ女乃チ夫レハ所ノアル  
七 三 四 五 六 十三 十四 廿 十九

普通デ二両性アルノ物デ普通性譬ハ  
十八 十七 十六 十五 十四 十三 十二 十一 十

親子供鳥  
北 北 北

何デアルカ種々ノ仕方ハノ辨別スルヲ  
十 十一 八 九 七 六

男及ビ女性ヲ  
一 三 四 二 五

七十一章 ソコニアル三ツノ仕方がノ  
一 九 七 八 六

辨別スルヲ男性及ビ女性ヲ即チ第一  
五 二 二 四 十 十一

由テ違タル辞ニ譬ヘバ童男童女第二  
十四 十二 十三 十五 十六 十七 十八

由テ違タル語尾ニ譬ヘバ此ウ此ウス  
廿 十九 廿 廿二 廿三 廿四

第三 由テ違タル言辞ニ置レタル前ニ  
廿五 三十一 十九 三十 廿八 廿七

實名詞ノ 譬へハ 僕婢  
廿六 三十二 五 五  
 アロヲカ 汝ハ 與ル 或ル 例ヲ ノ 第一ノ  
八 一 七 五 六 四 二

仕方  
三

七十二 章 第一 由テ 違タル 辞ニ 譬へハ  
一 四 二 三 五

男性	女性	男性	女性
童男	童女	伯父	伯母
男	女	甥	姪
王	女王	主父	主母
若キ男	若キ女	貴男	貴女
息男	息女	君	夫人
父	母	僧	尼
夫	妻	雄鸞	雌鸞

兄弟 姉妹 魔使ヒ男 魔使ヒ女  
 アロヲカ 汝ハ 與ル 或ル 例ヲ ノ 第二ノ  
八 一 七 五 六 四 二

仕方  
三

七十三 章 第二 由テ 違フタル 語尾 乃チ  
一 六 二 三 四

語尾ニ 譬へハ  
五 七

男性	女性	男性	女性
此ノ男	此ノ女	男ノ謠人	女ノ謠人
嫡男	嫡女	帝	女帝
男ノ詩人	女ノ詩人	男ノ支配人	女ノ支配人
伯爵ノ男	伯爵ノ女	勇士	勇女
寺院ノ頭	尼寺ノ頭	トルコノ帝	トルコノ女帝
男役者	女役者	執行ノ男	執行ノ女

デアロヲカ 汝ハ 興ル 或ハ 例ヲ ノ 第三ノ

ハ 一 七 五 六 四 二

仕方

三

七十四章 第三 由テ 違タル 辞ニ 置レタル

一 七 五 六 四

前ニ 實名詞ノ 譬ヘバ

二 二 八

男性 女性 男性 女性

僕 下女 男子 女子

牡山羊 牝山羊 雄雀 雌雀

ドノ 據ニシテ ラル、カ 實名詞ハ 夫ハ所ノ

十九 廿 一 七 二 十六

アラ 名ノ 子モ又 男 亦デモ又 女 時トシテ

七 古 吐 吐 六 八 五 九 三 五 十 十八

用ヒ

廿

七十五章 實名詞ハ 夫ハ所ノ アラ 又 名

一 十五 二 十四 十二 十三 十八

ノ 子モ 男 亦タデモ 女 ラル、カ 時トシテハ

四九 六 三 七 十一 八 廿二 十六

用ヒ 於テ 男性 或ハ 女性ニ 譬ヘバ 太陽ハ

廿一 廿 十七 十八 十九 廿三 廿四

輝ク 於テ 彼ノ 強ニ 月ハ 昇ル 於テ 彼女ノ

廿八 廿七 廿五 廿六 廿九 三十五 三十二 三十

美麗

三十一

如何ナル 性ガ ラル、カ 時トシテハ 用ヒ

三十一 十八 九 三 八

向テ 子供 及ビ 獸類ニ

七 四 五 六

七十六章 中 性ガ ラル、カ 時トシテハ 用ヒ

一 二 九 三 八

向テ 子供 及ビ 獸類ニ 譬ヘバ 付テ 子供ニ

七 四 五 六 十 十二 十三

余輩ガ 得ル 云ヒ 其ハ アルト 病シテ 或ハ

十三 十八 廿六 十七 十五 十四 十六 十五 十九

付テ 犬ニ 其ハ 走ルト 早ク

廿一 廿 廿二 廿四 廿三

單 複

如何ナル 違ヒガ アルカ ソコニ 間ニ 意味ノ

九 十 十一 一 八 七

ノ言辞 ボイ 及び ボイ スナル

六 五 二 三 四

ツコニ アル 違ヒガ 一物リテ 數ノ 童男

十 一 八 七 六 五 四 三

表レタル 辞ハ ボイナル 表ス 一人ノ 童男

二 十 九 十三 十一 十二

而メ 辞ハ ボイ スナル 表ス 以上ヲ 一人

十四 十六 十五 十九 十八 十七

何デ アルカ 數ハ タル 用ラレニ 實名詞

六 七 五 四 三 二

七十七章 數ハ アル 持テ物デノ 實名詞

八 一 五 四 三 二

由テ 夫ニ 所ノ 其ガ 表ス 一個 或ハ 以上ヲ

七 六 十四 八 十三 九 十 十二

一個

十一

幾個ノ 而メ 如何ナル 數ヲ 持カ 實名詞

一 二 三 四 六 五

七十八章 實名詞ハ 持ツニノ 數ヲ 單稱

一 七 五 六 二

及び 複稱ナル

二 四

何ヲ 為スカ 辞ハ 單稱ナル 徴スヲ

二 五 二 一 四

七十九章 辞ハ 單稱ナル 徴ス 單一ノチ

二 一 六 三 四

一四ヲ

五

何ヲ 為スカ 單數ハ 表ハスヲ

二 五 一 二 四

八十章 單數ハ 表ハス 尺一ツヲ 譬ハ

一 二 五 三 四 六

木椅子 等

七 八 九

何ヲ 為スカ 辞ハ 複稱ナル 徴スヲ

三 五 二 一 四

八十一章 辞ハ 複稱ナル 徴ス 以上ヲ 一

二 一 五 四 三

何ヲ 為スカ 複數ハ 表ハスヲ

二 五 一 二 四

八十二章 複數ハ 表ス 以上ヲ 一 譬ハ

一 二 五 四 三 六

木椅子 等

七 八 九

ドノ様ニシテ ラルハカ 複數ハノ 實名詞

一 七 四 三 二

一般 形作

五 六

八十三章 複數ハノ實名詞ラルハ一般

形作由テ附加ル<sub>一</sub>ニエスラニ單數<sub>二</sub>譬<sub>ハ</sub>  
十 九 八 七 六 五 四

書物々木々等  
十三 十四 十五 十六 十七

ソコニアル或ル格外レカニ通則向テ  
一 十 八 九 七 五 六 四

形作ル<sub>一</sub>ニ複數ヲ何デア<sub>二</sub>アルカ第一ノ物<sub>ハ</sub>  
五 二 十二 十三 十一

八十四章 第一實名詞終ハル所ノ於テ

エキスヲ柔カナルシス及ビズニ及ビ  
二 四 三 五 六 七 八 十二

辞ハ終ル所ノ於テラ<sub>一</sub>ニ先立レタル由テ  
十九 十八 十七 十六 十五 十四

子韻ニ形作ル複數ヲ由テ附加ル<sub>一</sub>ニエスラ  
十三 十六 十五 十四 十三 十二

ニ單數<sub>二</sub>譬<sub>ハ</sub>箱々寺々願ヒ々接吻  
十一 廿 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二

々黄玉々英雄々  
三十五 三十六 三十七 三十八 三十九

何デア<sub>二</sub>アルカ第二ノ格外レハニ通則  
六 七 四 五 三 二

八十五章 第三或ル實名詞ハ終ル所ノ

於テ<sub>一</sub>成<sub>二</sub>フイニ形作ル彼等ノ複數ヲ  
九 三 四 十七 十五 十六

由テ<sub>一</sub>變化スル<sub>一</sub>ニ此等ノ文字ヲニ<sub>二</sub>ガイス  
十四 十三 九 十 十二 十一

譬<sub>ハ</sub>麵包々妻々  
十八 十九 廿 廿一 廿二

何デア<sub>二</sub>アルカ第三ノ格外レハニ通則  
六 七 四 五 三 二

八十六章 第三實名詞ハ終ル所ノ於テ

ワイニ直ガ後ニ子韻ノ形作ル複數ヲ由テ  
五 三 四 二 十五 十四 十三

變化スル<sub>一</sub>ニワイヲニアイエスニ<sub>二</sub>譬<sub>ハ</sub>  
十二 九 十 十一 十六

繩々<sub>一</sub>漆々  
十七 十八 十九 廿

若シテラバワイガ<sub>一</sub>ルハ先立由テ母韻ニ  
九 二 八 七 六 五

ノ代ニ子韻<sub>一</sub>ドノ様ニシテラルハカ複數ハ  
四 三 十 十五 十一

形作  
十二



八十七章 其ハラル、然ル時ニハ 欣作  
五 二 四

規則通りニ 譬ヘバ 日々 鍵々 猶豫々等  
三 六 七 八 九 十 十一 十二

何デアルカ 第四ノ 格外レハニ 通則  
六 七 四 五 三 一 二

八十八章 第四 或ル 實名詞ハ 欣作  
一 二 三 八

彼等ノ 複數ヲ 甚ダ 不規則ニ 次ノ物ガアル  
四 五 六 七 九 十

或ル物デアノ 最ニ 緊要ナル物  
十二 十三 十一

單稱 複稱 單稱 複稱

男 男 小鼠 小鼠

女 女 虱 虱

刺牛 刺牛

子供 子供

ペン  
ペンニ

足 足 骰子 骰子

飛鳥 鷲 骰子

豌豆 兄弟 兄弟

豌豆 兄弟 兄弟

トノ様ニシテ 為カ 實名詞ハ 採用サレタル  
十一 六 五

カラ 他ノ 國言葉 時トシテ 欣作ルヲ 彼等ノ  
二 三 七 十 八

複數ヲ  
九

八十九章 第五 實名詞ハ 採用サレタル カラ  
一 六 五 四

他ノ 國言葉 時トシテ 欣作ル 彼等ノ 複數ヲ  
二 七 十五 十六

於テ 我ニ 與 規則ノ 夫等ノ 國言葉 譬バ  
十四 十三 十二 十一 十 八 九 十八

目錄々 燒點々 層々 天神々 伊達者々  
十九 十八 十七 十六 十五 十四 十三 十二

等  
十九

デアロヲカ汝ハ著ス或ル他ノ不規則ヲ

八 一七 四 五 六

ニ拘リテ數

三 二

九十章 第一 或ル實名詞ハアル同イデ

一 二 三 八 七

於テ兩數ニ譬ヘバ鹿羊家猪等

六 四 五 九 十 十一 十二 十三

第二 或ル實名詞ハラル、用ヒ只於テ

一 二 三 八 七 四 六

單數ニ譬ヘバ粉金不精勞力懶惰等

五 九 十 十一 十二 十三 十四 十五

第三 或物ハラル、用ヒ只於テ複數

一 二 八 七 三 六 四 五

譬ヘバ報謝灰素齋剪刀火箸肺燭剪等

九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七

第四 文字及ビ數字ハ、用ヒラル

一 二 三 四 八 七

シテ實名詞ト形作ル彼等ノ複數ヲ由テ

六 五 十七 十五 十六 十四

附加ヘルトニアポストロフヘ及ビ文字ヲ

十三 九 十 十二

エスナル譬ヘバエ、及ビ、五及ビ十

十 十八 十九 廿 廿一 廿二 廿三 廿四

格

何ヲ為スカ辞ハ格ナル徴スヲ

三 五 二 一 四

九十一章 辞ハ格ナル徴ハス有様乃チ

二 一 六 三 四

模様ヲ

五

於テ文章ニシヨスハ騎リシナル下夕ニ

四 三 一 二 七

如何ナル模様ノル、カジスガ頭ハサ

五 六 十 八 九

彼ハル、頭ハサシテ為スト或ル事ヲ

一 六 五 四 三 二

於テ文章ニシヨシハ打チシナルジスヲ

五 四 一 三 二

下ニ如何ナル模様ノル、カジスハ頭ハサ

六 七 十一 九 十

彼ハル、頭ハサシテ持ツト或ル事ヲ

一 九 八 七 六 五

為サレタルニ彼

四 三 二

於テ文章ニ此ハアルナルシヨ又ノ書物  
六 五 一 四 二 三

ドノ様ニル、カ彼ハ頭ハサ  
七 十 八 九

彼ハル、頭ハサ只シテ持主トノ書物  
一 八 七 二 六 五 四 三

於テ文章ニシヨ又ヨ来シレナルニ余  
六 五 一 四 三 二

ドノ様ニル、カ彼ハ頭ハサ  
七 十 八 九

彼ハル、頭ハサレテ話シカケラルト  
一 二 一 十 九

無シニ何ノ關係與何ニ物他ノ  
八 六 七 五 三 四 二

於テ此等ノ文章ニシヨ又ハル、頭ハサ  
三 一 二 四 十五 十四

下ニ色々ノ模様乃チ關係ノニ他ノ物  
十三 五十一 六 七 十一 十 八 九

而シテ辞ハシヨ又ナルアル於テ違タル格ニ  
十六 十八 十七 廿二 廿一 十九 廿

何ガ然ラバ、カ彼ハサ由テ格ニタル  
廿四 廿三 三十二 三十一 三十 廿九 廿八

用ヒラレニ實名詞  
七二 七六 七五

九十一章 格ハアル其ノ持物デノ實名詞  
一 六十一 四十五 五十六 二 二

大ノ所ノ表ス其レノ關係ヲニ他ノ言辞  
七 十四 十三 十一 十二 十 八 九

幾個ノ而シテ如何ナル格ヲ為カ實名詞ガ  
一 二 三 四 七 五

持ツヲ  
六

九十三章 實名詞ハ持ツ四ノ格ヲ主格  
一 四 二 三 五

持格 賓格 及ビ不關係格  
六 七 八 九

主格

何ヲ為スカ辞ハノミナチフナル徴スヲ  
三 五 二 一 四

九十四章 辞ハノミナチフナル徴ス名指ヲ  
二 一 四 三

於テ文章ニフルトシハ工夫セシナル蒸氣船ヲ  
五 四 一 三 二

誰ガル、カ名指サシテ重モナル人ト  
六 十一 十 九 七 八

フルトニ  
 何故ニル、カ彼ハ斯様ニ目立テ名指  
 六 二 三 四 五  
 ガ故ニ彼ハアル働者乃チ働者デ  
 六 一 五 二 三 四  
 於テ何ニ格ニアルカ辞ハフルトンナル  
 五 三 四 六 二 一  
 於テ名指ス乃チ主格ニ  
 六 一 三 四 二 五  
 何ヲ為スカ主格ハ表ハスヲ  
 三 五 一 二 四  
 九十五章 主格ハ表ハス働者ヲ譬ハバ  
 一 二 四 三 五  
 マリリハ愛ス彼ノ母ヲ地球ハアル圓ク  
 六 九 七 八 十 十二 十一  
 何がル、カ徴ハサ由テ働者一  
 一 五 四 三 二  
 九十六章 働者ハアル夫デ夫ハ所ノ為  
 一 三 二 四 一 八  
 或ル物ヲ或ハアル或ル物デ通りマリリ  
 五 七 九 八 一六 一六  
 及ビ地球ノ於クル例ニ與ラレタル  
 十七 十八 十五 十四 十三

與何ラル、カ主格ハイツデモ結付ケ  
 二 一 七 五 四 五 六  
 九十七章 主格ハラル、イツデモ結付ケ  
 一 二 七 三 六 四  
 働動詞ニ夫所ノ其ガル、一般ニ云ハ  
 九 四 八 九 十 十一 十五  
 マクアル主格デ譬ハバジヨヌハ騎リシ  
 十四 十三 十二 十一 十 九  
 其處デハジヨヌハアル主格デニロヲド  
 十五 十六 三十 十九 十八 十七  
 マリリハアル茲ニ其處デハマリリハ  
 二十 二十一 二十二 二十四 二十五  
 アル主格デニイズ  
 二十九 三十八 三十五 三十六  
 實名詞ガアル時トシテハ亦タ主格デ  
 一 七 二 三 六  
 後ニ動詞ノ譬ハバゼリムスハアル商人デ  
 五 四 八 九 十 十一  
 其處デハゼリムスハアル主格デニ動詞  
 十二 十三 十八 十七 十六 十五  
 イズケル而ソメルチヌトハアル主格デ  
 十四 十九 十 四 三  
 後ノ其ノ  
 十二 十三

持格

何ヲ為スカ辞ハボセレフナル徴スヲ  
三 五 二 一 四

九十八章 辞ハボセシフナル徴ス拘ルヲ  
二 一 六 五

ニ取持

四 三

於テ句ニヘ又リノ帽子ナル如何ナル  
四 三 一 二 五

關係ガルカ表ハサ由テ辞ニヘ又リスナル  
六 十一 十 九 八 七

關係ノ所持乃チ主ヘ又リガ持ツ  
五 四 一 二 三 六 八

乃チ持ツ帽子ヲ  
九 十 七

何ヲ為スカ持格ハ表ハスヲ  
三 五 一 二 四

九十九章 持格ハ表ス持主乃チ持主ヲ  
一 二 六 三 四 五

壁ヘバ ジヲジノ 盤石 マーリーノ 書物  
七 八 九 十 十一

トノ様シテラルカ持格ハ形作  
五 二 三 四

百章 持格ハラルカ一般ハ形作由テ  
一 十 二 九 八

附加トアポストロフヘヲ與文字エスナル  
七 六 五 四 三

通り ジヲジス マーリーノ  
三 十一 十二

ドレガアルカアポストロフヘテ於テ  
三 五 四 二

クリスニ  
一 八

マハマ前ノエスノ  
三 二 一

於テ形作ルニ持格ヲサルカ附加ノ  
三 二 一 八 四

エスガ早晚脱去  
五 六 七

百一章 附加ノエスガサルカ脱去於テ  
一 二 十五 十四 十三

夫等ノ複稱ニ夫ハ所ノ既ニ終ハル於テ  
三 四 五 十 六 九 八

エスニ譬ニバホラルシス マウリス アラヌ  
七 八 十六 十七 十八 十九

ホヲルシス、マウツデ ドヲフス スレヅル  
十九 廿 廿二 廿三

アラヌ ドヲフス、フヒザルステ  
廿六 廿四 廿五

於テ 如何ナル 他ノ 場合ニ サル、カ  
四 一 二 三 八

附加ヘノ エスガ 脱去  
五 六 七

百二章 其ガ サル、亦タ 脱去 於テ 單稱  
十八 廿三 十九 廿二 廿一 廿

キニ 其ガ デアロラ 持来シ 一 緒ニ 數 音ヲ  
十七 一 十六 九 八 六 七

ノ ス 或ハズ 斯様ニシテ 起ス 快ヨカラヌ  
五 二 三 四 十 十五 十三

種類ヲ ノ 嘯キ 譬、バ モセス ロヲ アラス  
十四 十二 十一 廿四 廿五 廿六 廿九

モセス、 ロヲデ コンセンス、セキ アラス  
廿七 廿八 三十 三十一 三十四

コンセンス、セキデ  
三十二 三十三

何デアルカ 規則ハ 何テノ 持 格ニ  
五 六 四 三 一 二

百三章 規則 持 格ハ サル、 支配 由テ  
一 二 九 八 七

實名詞 表ス所ノ物ヲ 持タレタル 譬ヘバ  
六 五 四 三 十

ペリノ 書物 ペートルノ 帽子  
十一 十二 十三

何 為メ 汝、 曉解スルヲ 由テ 持 格ノ  
九 一 八 六 二 三

ハ、 一ニ 支配  
五 四

云フ 辞ガ 子バナラヌト アラ 於テ 持 格ニ  
十六 十 十五 十四 十三 十一 十二

為メニ 示ス 其ノ 關係ヲ ノ 所持ニ 或ル物  
九 八 一 七 六 五 四 三

外ノ 譬ヘバ 於テ 句ニ ペートルノ 帽子ナル  
二 十七 廿一 廿 十八 十九

言辭ハ ペートルナル 子バナラヌ アラ 於テ  
廿三 廿二 廿八 廿七 廿六

持 格ニ 為メニ 示シテ 云フヲ 彼ノ 持ツト  
廿四 廿五 三十四 三十五 三十二 廿九 三十一

帽子ヲ  
三十

實格

何ヲ為スカ 辭ハ ラビゼクチフナル 徴ス  
三 五 二 一 四

百五章 言辭ハ ラビゼクチフナル 徴ハ  
二 一 六

拘ハルヲ 目的  
五 四 三

何ヲ為スカ 賓格ハ 表ハスヲ  
三 五 一 二 四

百六章 賓格ハ 表ハス 目的ヲ 譬ハ  
一 二 四 三 五

神ガ 作りシ 世界ヲ  
六 八 七

於テ 文章ニ コロンビュスハ 發明セシナル  
五 四 一 三

亞米利加ヲ ドレガ アルカ 賓格デ 而ノ  
二 六 九 七 八 十

何ヲ為スカ 其ハ 續グヲ  
十二 十四 十一 十三

亞米利加ハ アル 於テ 賓格ニ ガ故ニ 其ハ  
一 五六 四七 五三 十 八

アル 目的デ 夫ヲ所ノ コロンビュスガ 發明セシ  
十三 七 十二 八 十一 九 十

而ノ 其ハ 繼グ 自達 動詞ヲ 發明セシナル  
十九 廿 廿四 廿二 廿三 廿一

何デ アルカ 自達 動詞ハ  
三 四 一 二

於テ 文章ニ コロンビュスハ 行キシナルニ  
六 五 一 四 三

亞米利加 ドレガ アルカ 賓格デ 而ノ 何ヲ  
二 七 十 八 九 十一 十二

為スカ 其ハ 繼グヲ  
十五 十二 十四

亞米利加ガ アル 於テ 賓格ニ ガ故ニ 其ハ  
十一 十五 十四 十二 十三 十 一

アル 目的デニ 夫所ノ コロンビュスガ 行キシ  
九 二 八 四 三 七 五 六

而ノ 其ハ 繼グ 前置詞ヲ ツナル  
十六 十七 十八 十九 十八

如何ナル 部分ヲ ノ 話シ 為スカ 賓格ハ  
一 四 三 二 九 五 六

一般ニ 繼グヲ  
七 八

百七章 賓格ハ 一般ニ 繼グ 自達 動詞  
一 二 三 八 廿 四 七 五 六

或ハ 前置詞ヲ 夫ハ所ノ ル、夫レ故ニ 云ハ  
八九 七 七 九 十六 十五 十 十四

ク 支配ス 其ヲ 使ハテ 彼等ハ 要ス 其ヲ  
十三 十一 十一 廿二 廿三 廿六

後ニ 彼等ノ

廿五 廿四

テアロヲカ 汝ハ 今與ヘル 規則ヲ 向テ  
八 一 二 七 六 五

賓格ニ

三 四

百八章 規則 自達 動詞ハ 支配スレ 賓

一 二 五 三

格ヲ 譬ヘバ 神ハ 愛ス 人ヲ

四 六 七 九 八

コ、テハ マヌガ 於ケル 賓格ニ サル

一 四 三 二 十

支配 由テ 自達 動詞ニ ロヲ アスナル

九 八 六 七 五

百九章 規則 前置詞ガ 支配ス 賓格ヲ

一 四 二 三

譬ヘバ 彼ハ 行キシニ 佛蘭西

五 六 九 八 七

コ、テハ 佛蘭西ガ 於ケル 賓格ニ サル

一 四 三 二 九

支配 由テ 前置詞ニ ツナル

八 七 六 五

不關係 格

何時 ル、カ 實名詞ガ 云ハ ベク アル  
九 二 八 七 六

於テ 不關係 格ニ

三 四

百十章 實名詞ガ アル 於テ 不關係 格ニ

十一 十五 十四 十二 十三

其カ ラル、用キ 於テ 仕方ニ ノ 名當

九 八 七 六 五

或ハ 感嘆 譬ヘバ 嗚呼 アズ サロムヨ 余ノ

三 四 十六 十七 十八

息男ナル 彼レ何ヲ タカ 彼ハ 為シベク

十九 廿 廿六 廿八 廿二 廿七 廿四

直打ス 答ノニ 彼 夫ハ 所ノ 持ツ 耳ヲ べき

廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二

關ク 彼等 彼ヲ 關カ

三十一 三十二 三十九

何故 ラル、カ 此ノ 格ハ 名付 不關係ト

六 二 三 五 四

百十章 如何ニトナレバ 故ニ 實名詞ハ

一 十八 五

於ケル 此ノ 格ニ 主ラレ 又 結付ケ 與 他ノ

三 十 十一 九 八 六



辞 但シラル、用ヒ不關係ニカラ彼等  
七 十二 十七 十六 十五 十四 十三

屈曲ノ實名詞

テアロテカ汝、與ニル種々ノ格及ビ  
十二 十一 七 八 九

數ヲノ辞童男及ビ庖丁ナル  
十 六 五 三 四

單稱 複稱

主格 童男 主格 童男

持格 童男ノ 持格 童男ノ

賓格 童男 賓格 童男

不關係格 童男 不關係格 童男

單稱 複稱

主格 庖丁 主格 庖丁

持格 庖丁ノ 持格 庖丁ノ

賓格 庖丁 賓格 庖丁

不關係格 庖丁 不關係格 庖丁

何ガ、カ微ハ由テ屈曲ニノ實名詞  
五 七 六 四 三 二 一

百十二章 屈曲ノ實名詞アル與ルイテ  
三 二 一 十九 十八

其ノ種々ノ格及ビ數ヲ通り夕レ為  
十四 十五 十六 十七 十二 十一 十 九

以テ辞ヲ童男及ビ庖丁ナル  
八 七 四 五 六

由ガコ辞ヲ人及ビ蠅ナル  
五 四 一 二 三

單稱 複稱

主格 人 主格 人

持格 人ノ 持格 人ノ

賓格 人 賓格 人

不關係格	人	不關係格	人
	單稱		複稱
主格	蠅	主格	蠅
持格	蠅ノ	持格	蠅ノ
賓格	蠅	賓格	蠅
不關係格	蠅	不關係格	蠅

第二 代名詞

其レノ	持物	及ビ	關係
一	二	三	四
何ト	ラル、カ	實名詞ハ	名付ケノ代リ
九	十一	一八	十
夫所ノ	代名詞ガ	ラル、	用ヒ
二七	四	六	五
百十三章	實名詞ハ	ノ代	ハリニ
	一七	三	二六

代名詞ガ	立ツ	ラル、	名付ケ	其ノ	先詞ト
四	五	十一	十	八	九
何故ニ	ラル、カ	其ハ	左様ニ	名付ケ	
	五	二	三	四	
百十四章	が故ニ	辞ハ	アソテ	スダントナル	
	廿	二			
微ス	夫ヲ	夫ハ	所ノ	先立ツ	而ノ
八	三七	四	六	五	九
ノ代	ハリニ	夫レ	所ヲ	代名詞ガ	立ツ
	十二	十一	十五	十三	十四
先立ツ	其ニ	譬	ヘバ	ビ	ムスハ
十九	十八	廿一		廿二	廿五
親ヲ	ソコ	デハ	ヒスハ	アル	代名詞
廿四	廿六		廿七	廿八	三十
ビ	ムスハ	其ノ	先詞	ヲ	
三十一		三十二	三十三		
如何ナル	持物ヲ	持ツカ	代名詞ハ		
	二	四	三		
百十五章	故ニ	代名詞ハ	ニ代	ハル	實名詞
	四	一	三	二	
彼等ハ	持ツ	同ジ	持物ヲ	夫ヲ	所ノ
五	十四	十六	七	八	十一
持ツ					
十					

人稱 第一 第二 及ビ 第三 人稱  
一 三 五 六 二四七

性 男女 及ビ 中性  
一 三 五 六 二四七

數 單 及ビ 複數  
一 三 四 二五

格 主持賓 及ビ 不關係格  
一 三 五 七 八 二四九

幾個ノ種類ガノ代名詞 アルカソコニ  
三 四 二 一 六 五

百十六章 代名詞ハ アルノモノデ 三種  
一 五 四 二 三

一 人 代名詞  
一 二

二 關係 代名詞  
一 二

三 疑問 代名詞  
一 二

人 代名詞  
一 二

何デアルカ人代名詞ハ  
三 四 一 二

百十七章 人代名詞ハ アル夫等デ 於テ  
一 二 十五 三十四 五

夫ニ所ノ違タル人稱ガル、頭ハサ 由テ  
四 十三 六 七 十二 十一 十

違タル言辭ニ  
八 九

ドレガアルカ人代名詞デ  
一 四 二 三

百十八章 人代名詞ハ アル  
一 二 五廿七

余デ向テ一人稱ニ  
十二 十一 九 十

汝或ハ汝デ向テ二人稱ニ而ソ  
十七 十八 十九 十六 十四 十五 十一

彼彼ノ女及ビ其デ向テ三人稱ニ以テ  
十五 十六 十七 十八 十四 十二 十三 八

彼等ノ違タル數及ビ格ヲ  
三 四 五 六 七

何故ニラルカ彼等ハ名付人代名詞ト  
一 六 二 五 三 四

百十九章 ガ故ニ彼等ハ頭ハス違タル  
八 一 七 二

人稱ヲ由テ違タル言辭ニ  
三 六 四 五

余ハ 頭ハシツ、人ヲ 話ス所ノ

一 四六七 二 三

汝 或ハ 汝ハ 人ヲ 話シカケラレタル 而ノ

十 二 三 五 四 七

彼 彼ノ女 及ビ 其ハ 人ヲ 話サレウル

一 二 三 四 六 五

曲ゲヨ アイヲ 人代名詞ナル ノ 一人稱

七 六 四 五 三 一 二

百二十章

單稱

複稱

主格

余ガ

主格

余輩ガ

持格

{ 余ノ 或ハ  
余ノ、

持格

{ 余輩ノ 或ハ  
余輩ノ、

賓格

余ヲ

賓格

余輩ヲ

不關係格

{ 余 或ハ  
余

不關係格

余輩

曲ゲヨ ニ 及ビ ヲウヲ 人代名詞ナル

九 六 七 八 四 五

ノ 二人稱

三 一 二

百二十一章

單稱

複稱

主格

汝ガ

主格

汝等ガ

持格

{ 汝ノ 或ハ  
汝ノ、

持格

{ 汝等ノ 或ハ  
汝等ノ、

賓格

汝ヲ

賓格

汝等ヲ

不關係格

汝

不關係格

汝等

單稱

複稱

主格

汝ガ

主格

汝等ガ

持格

{ 汝ノ 或ハ  
汝ノ、

持格

{ 汝等ノ 或ハ  
汝等ノ、

賓格

汝ヲ

賓格

汝等ヲ

不關係格

汝

不關係格

汝等

註釋 其 ヲオ 及ビ 其ノ 種々ノ 格ハ ラル、

一 二 三 四 五 十 十五

用ヒ 於テ 正格ナル 文法ニ 及ビ 由テ  
九 十 八 六 七 十一 十三

クニケル 宗ノ人ニ  
十二

何故ニ 持タ アイ 及ビ ユノハ 一 及ビニ  
一 十四 七 八 九 二 四 五

人稱ナル ツノヌカ 変化ヲ 向テ 性ニ  
五 六 十二 十五 十三 十一 十

百二十二章 如何ニトナレバ 故ニ 人 話ス  
一 十七 三 二

及ビ 人ハ 話シカケラレタル ラル、 假定ノ  
四 六 五 十一 十六 十

ベク アル 現在レテ 而ノ 性ハ 勿論 知  
九 八 七 十二 十三 十四 十五

曲ゲヨヒ シ、 及ビ イ、トヲ 人 代名詞ナル  
十 六 七 八 九 四 五

ノ 三人稱  
三 一 二

百二十三章 單稱

男性 女性 中性 或ハ

普通性

主格 彼ガ 彼ノ女ガ 其ガ

持格 彼ノ 彼ノ女ノ 或ハ 其レノ  
彼ノ女ノハ

賓格 彼ヲ 彼ノ女ヲ 其ヲ

不關係格 彼 彼ノ女 其

複稱

中性 或ハ 普通性

主格 彼等ガ

持格 彼等ノ 或ハ 彼等ノハ

賓格 彼等ヲ

不關係格 彼等

トノ様ニシテ、カ 持 及ビ 賓格ハノ  
一 十二 四 六 七 五 八 三

代名詞 解割リ  
二 九

百二十四章 於テ 同様ナル 仕方ニ 通り  
七 十一 五 八 六 四

夫等ノノ實名詞  
三 二

如何ナル他ノ規則ガアルカ  
三 四 五 七 六 二

代名詞  
一

百二十五章 規則 代名詞ハ  
一 十

符合セ與彼等ノ先詞於テ人稱性及ビ  
十 九 七 八 六 二 三 四

數ニ  
五

合共人代名詞  
一 二 三

何デアアルカ合共人代名詞  
四 五 一 二 三

百二十六章 代ニ辞セルヲナル或ハ其  
三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

複稱ガセルフスナルラル、附加ニ人  
六 四 十一 十 九 七

代名詞其カラル、名付合共人代名詞  
八 十三 十八 十七 十四 十五 十六

如何トナレバ故ニ然ル時ニハ其ガラル、  
十九 十九 廿 廿一 廿八

組立テ乃チ組立テカラニツノ辞譬ハ  
廿五 廿六 廿七 廿四 廿二 廿三 三十

余自身彼ノ女自身等  
十一 十三 十五

ドリガアルカ合共人代名詞デ  
一 五 二 三 四

百二十七章 彼等ハアル余自身余輩自身  
一 十 二 三

汝自身汝自身汝等自身彼自身彼ノ女自身  
四 五 六 七 八

其自身彼等自身デ  
九 十

關係代名詞  
二

何デアアルカ關係代名詞  
三 四 一 二

百二十八章 關係代名詞ハアル物デ  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

夫レハ所ノ關係スルニ其レノ先詞於テ  
五 十八 十七 十六 十四 十五 十三

加様ナル 仕方ニ 通り 一ノ 終續スル 別ケノ  
十一 十二 十三 十四 十五 十六

文章ヲ 譬ヘバ 人ハ 其人ハ 所ノ 死シ 離レシ  
十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三

家族ヲ 效デハ マス タイドガ アル 文章  
二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九

マス レフト エズ ミリイガ アル 他ノ 物デ  
三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五

而ノ 彼等ガ サル、 連合 由テ 關係代名詞  
三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一

フウナル  
四十二

備考 先詞ハ ノ 關係代名詞 得ルアリ人  
四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八

代名詞デ 譬ヘバ 彼 其人ハ 所ノ 死セシ  
四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四

ドレガ アルカ 關係 代名詞デ  
五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十

百二十九章 關係 代名詞ハ アル 其人ハ  
六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六

云々スル所ノ 夫ハ 云々スル所ノ 夫ハ 云々ス  
六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二

ル所ノ 及ビ 夫レ夫ハ 云々スル所ノ 夫デ 而  
七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八

彼等ノ 合括詞デ 何人デモ夫ハ 云々スル所ノ  
七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四

ドレデモ夫ハ 云々スル所ノ 何デモ夫ハ 云々ス  
八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十

所ノ 凡テノ 物 或ハ 誰デモ其人ハ 云々スル  
九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六

所ノ ドレデモ夫ハ 云々スル所ノ 何デモ夫ハ  
九十七 九十八 九十九 一百 一百零一 一百零二

云々スル所ノ 凡テノ 物ナル  
一百零三 一百零四 一百零五 一百零六 一百零七 一百零八

備考 アズガ アル 時トレテハ 關係代名詞デ  
一百零九 一百一十 一百一十一 一百一十二 一百一十三 一百一十四

譬ヘバ 斯様ナル 物 夫ヲ 所ノ 余ガ 愛スル  
一百一十五 一百一十六 一百一十七 一百一十八 一百一十九 一百二十

曲ケヨ フウ 而ソ フイ、 而ソ フウエブルヲ  
一百二十一 一百二十二 一百二十三 一百二十四 一百二十五 一百二十六

百三十章  
一百二十七 一百二十八 一百二十九 一百三十 一百三十一 一百三十二

單稱 及ビ 複稱  
一百三十三 一百三十四 一百三十五 一百三十六 一百三十七 一百三十八

主格 其人ガ 云々スル所ノ  
一百三十九 一百四十 一百四十一 一百四十二 一百四十三 一百四十四

持格 其人ノ 云々スル所ノ  
一百四十五 一百四十六 一百四十七 一百四十八 一百四十九 一百五十

賓格 其人云々スル所ノ

不關係格 其人云々スル所ノ

單稱 及ビ 複稱

主格 夫云々スル所ノ

持格 夫ノ云々スル所ノ

賓格 夫云々スル所ノ

不關係格 夫云々スル所ノ

單稱 及ビ 複稱

主格 誰デモ其人云々スル所ノ

持格 誰デモ其人ノ云々スル所ノ

賓格 誰デモ其人云々スル所ノ

不關係格 誰デモ其人云々スル所ノ 等等

ドノ様ニ ラル、カ ホウトハ 用ヒ

百三十一章 ホウトハ ラル、用ヒ シテ

種類ノ 合光 關係代名詞 込ノル所ノ 先詞  
九 八 六 七 五 二

及ビ 關係代名詞ヲ 譬へバ 此ハ アル 夫デ  
五 四 十三 十四 十一 十五

夫ヲ所ノ (夫レ 夫ヲ所ノ 或ハ 物 夫ヲ所ノ)  
十六 十九 一四 二 三 五 六 七 八

余ガ 要セシ  
十七 十八

ドレガノ 關係代名詞 ラル、カ 用ヒ 向テ  
五 二 七 六 五

人ニ  
四

百三十二章 フウ 及ビ 其レノ 合光詞ガ  
一 二 五 六

フウエブル 等ナル ラル、用ヒ 向テ 人ニ  
三 四 十 九 八 七

譬へバ 人 其人ノ 所ノ 来リシ人  
十一 十二 十三 十五 十四

ドノ様ニ ラル、カ フイ、左 及ビ 右トハ 用ヒ  
一 六 二 三 四 五



百三十三章 スイタハラル、用ヒ向テ  
五六五 四五四 三

畜生ニ譬ヘバ  
二 六

馬夫ニ野ノ余ガ騎リシ  
一六 二 五 三 四

向テ物ニ無キ活動譬ヘバ  
四 三 二 一 七

木夫ハ野ノ倒レシ  
一五 二 四 三

及ビ向テ子供ニ譬ヘバ  
一 三 二 六

子供夫ハ野ノアル病ンデ  
一六 二 五 四 三

ガトハラル、用ヒ或ハノ代リニフ  
一 九 八 二 四七 三

或ハスイタ譬ヘバ  
五 六 十

人夫ハ野ノ来リシ  
一五 二 四 三

馬夫ニ野ノ余ガ騎リシ  
一六 二 五 三 四

木夫ハ所ノ倒レシ  
一五 二 四 三

子供夫ハ所ノアル病ンデ  
一六 二 五 四 三

アルカガトハ早晚何ノ他ノ部分デノ  
八 一 二 五 四 七 六

詰シ  
五

百三十四章 ガトハアル時トシテハ形容詞デ  
一 四 三 二

譬ヘバ其ノ人其ノ家而ノ時トシテハ  
五 六 七 八 九 十 十一

接續詞デ譬ヘバ余ハ知ル云イヲ汝ハ  
十一 十四 十九 廿 十八 十五

アルト信實ニ  
十七 十六

疑問代名詞

何時ラル、カフウフイツヒ及ビホワトガ  
八 二 三 四 五

名付ク疑問代名詞ト  
七 六

百三十五章 フウフイツヒ及ビホワトガ  
一 二 三 四

ラル、名付ケ 疑問 代名詞ト 氏ニ 彼等カ  
八九 七六 五三 六七 十五 九

ラル、用ヒ 向テ 問フイニ 疑ビテ 譬ヘバ  
十四 十三 十二 十一 十 廿

誰ガ アルカ 其處ニ ドレガ アルカ 人デ  
廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七

何故ニ ラル、カ 彼等ハ 左様ニ 名付ケ  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

百三十六章 如何ニトナレバ 故ニ 言辞ハ  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

インテロガチナル 徴ス 表ハスヲ 疑ヒテ  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

### 第三 形容詞

其レノ 持物 及ビ 關係

何故ニ サル、カ 形容詞ハ 變化  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

百三十七章 最モ 多クノ 形容詞ハ サル、  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

變化 為メニ 頭ハス 階級ヲ ノ 比較  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

何ヲ 為スカ 辞ハ デグリトナル 徴スヲ  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

百三十八章 言辞ハ デグリトナル 徴ハス  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

階級 ノチ 間ヲ 或ル 林檎ヲ 與 互ヒ  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

於テ 比較スルニ 或ル 林檎ヲ 與 互ヒ  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

若シモナラバ 余ガ 云フト 一ハ アル 甘ク  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

今一ツハ アル ヨリ 甘ク 而ノ 第三ハ アル  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

最甘ク ノ 中デ 總テ 幾個ノ 階級 ノチ 階級ヲ  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

ノ 比較 為スカ 余ガ 込メルヲ 返答 三  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

ノ 中デ 三 級 甘キ ヨリ 甘キ 最甘キナル  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

ドレガ アルカ 最低ク ドレガ アルカ 次デ  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

ドレガ アルカ 最モ 高キモノデ  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

幾個ノ 而ノ 如何ナル 階級ヲ ノ 比較  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

為スカ 形容詞が 持ツヲ  
九 七 八

百三十九章 三 定級 通り 甘キノ 比較級  
一 二 四 三 五

通り ヨリ 甘キノ 而ノ 最上級 通り 最甘キノ  
七 六 八 九 十一 十

何ヲ 為スカ 辞ハ ポシチフナル 徴スヲ  
三 五 二 一 四

百四十章 辞ハ ポシチフナル 徴ス 極タル  
二 一 五 三

慥カナルヲ  
四

何ヲ 為スカ 定級ハ 表ハスヲ  
三 五 一 二 四

百四十一章 定級ハ 表ハス 極タル 乃チ  
一 二 十 十 十

有儘ノ 性質ヲ 無シニ 別段ノ 關係ニ 何  
十二 十三 九 七 八 六 四

物外ノ 譬ハ 甘キ 林檎 丈ケ 高キ 男  
五 三 十五 十六 十七 十八 十九

何ヲ 為スカ 比較級ハ 為スヲ  
三 五 一 二 四

百四十二章 比較級ハ 加増ニ 或ハ 減少  
一 二 六 七 八

意味ヲノ 定級 譬ハ ヨリモ 甘キ 林檎  
五 四 三 九 十

ヨリ 丈高キ 男 ヨリ 少ク 勉強ナル 童男  
十二 十三 十四 十五 十六

何故ニ ラルカ 其ハ 名付ケ 比較級ト  
一 六 二 五 三 四

百四十三章 其ハ 込メル 直チノ  
八 一 七 五

比較ヲ 與 或ル物 外ノ 若シナラバ 林檎ガ  
六 四 三 二 九 十

アル ヨリ 甘ク 其ハ 手バナラス アラ ヨリ 甘ク  
十二 十一 十四 廿 十九 十八

ヨリハ 或ル物 外ノ  
十一 十六 十五

何ヲ 為カ 辞ハ シウペラチフナル 徴スヲ  
三 五 二 一 四

百四十四章 辞ハ シウペラチフナル 徴ス  
二 一 五

過ルヲ 總テニ  
四 三

何ヲ 為スカ 最上級ハ 為スヲ  
三 五 一 二 四

百四十五章 最上級ハ 増シ 或ハ 減タル  
一 二 十 十一 十二

定級ヲニ最高キ或ハ最低キ階級譬ハ  
三 九 四 六 七 五 八 十三

最甘キ林檎最大高キ男最少ク勉強ナル  
十四 十五 十六 十七 十八 十九

童男  
廿

ドノ様ニシテナルカ形容詞ハノ一ト  
一 七 五 四 二

綴リ比較  
三 六

百四十六章 形容詞ハノ一ト綴リナルハ  
四 五 一 二 廿四

比較由テ附加ヘル一ニニ定級アル或ハ  
廿三 廿二 十二 廿一 十一 十九 七 八

エアルヲ向テハ比較級ニ兩ノスト或ハ  
九 六 五 十三 十六 十七

エストヲ向テハ最上級ニ譬ハ定級廿  
三十八 十五 十四 廿五 廿六 廿七

比較級ヨリ甘キ最上級最モ甘キ  
廿八 十九 三十 三十一

ドノ様ニシテナルカ形容詞ハノ以上  
八 六 五 四

一ト綴リ比較  
二 三 七

百四十七章 形容詞ハノ以上一ト綴リ  
五 四 三 一 二

一般ニ比較由テ置ク一ニ前ニ  
十八 十九 十七 十六 十五

定級副詞ヲヨリ多ク向テハ比較級ニ而ノ  
十四 十三 八 七 六 九

最モ多クナル向テハ最上級ニ譬ハ定級  
十二 十一 十 廿 廿二

變ス可キ比較級ヨリ多ク變ス可キ最上級  
廿三 廿四 廿五 廿六 廿七

最モ多ク變ス可キ  
廿八 廿九

アルカソコニ何ノ他ノ任方がニ付テ  
八 一 五 六 七 四

比較スル一形容詞ヲ  
五 二

百四十八章 最モ多クノ形容詞ハ為メニ  
一 二 五

表ス減少ヲ得ルサレ比較由テヨリ少ク  
四 三 十二 十一 十 九 六

及ビ最モ少クニ譬ハ謙遜ナルヨリ少ク  
七 八 十五 十四 十五

謙遜ナル最モ少ク謙遜ナル  
十六 十七 十八

總カニ 亦タ サル、 比較 不規則ニ 通リ  
一 二 五 四 三 七

次ノモノ、  
六

定級 比較級 最上級

善キ ヨリ善キ 最モ善キ

悪キ ヨリ悪キ 最モ悪キ

悪キ ヨリ悪キ 最モ悪キ

多キ ヨリ多キ 最モ多キ

多キ ヨリ多キ 最モ多キ

定級 比較級 最上級

遠キ ヨリ遠キ 最モ遠キ 或ハ  
最モ遠キ

近キ ヨリ近キ 最モ近キ 或ハ  
最モ近キ

少キ ヨリ少キ 最モ少キ

年長タル {ヨリ年長タル 最モ年長タル}  
ヨリ年長タル 最モ年長タル

此ル、カ 總テノ 形容詞カ 比較  
四 一 二 三

百四十九章 或ル 形容詞ハ カラ 彼等ノ  
一 二 五 三

意味為サ 又 許ルステニ付テ 比較 譬ヘバ  
四 九 十 八 七 六 十一

總テ 或ル 何ノ 一ツ 此ノ 其ノ 其ノ 一ツノ  
十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

新様ナル 圓キ 四角ノ 際限ナキ 等  
廿 廿一 廿二 廿三 廿四

サル、カ 形容詞ハ 變化 向テ 何ノ 他ノ  
十四 一 十三 十二 九 十

道理ニ ヨリ 示ス 違タル 階級ヲノ 比較  
十一 八 七 六 四 五 三 二

百五十章 ニノ 形容詞ハ 此ノ 及ビ 其ノナル  
四 五 二 三

持ツ 複數ヲ 此レ等 及ビ 夫等ナル 譬ヘバ  
十 九 六 七 八 十一

此等ノ 男 夫等ノ 書物 二ツノ 他ノ物ハ  
十二 十三 十四 十五 十九 廿

又 及ビ 一ツナル 持ツ 複數ヲ トキニ  
十六 十七 十八 廿六 廿五 廿四

用ヒラル、シテ實名詞ト譬ヘバ利ロナル  
廿三 廿二 廿一 廿七 廿八

人ハ知ル他ノ人ハトシテ残シ置カ (見ヨ  
廿九 三十 三十一 三十三 三十二

百五十六章ヲ)  
一

ドレガノ形容詞ラル、カ時トシテハ  
三 二 一 七 四

名付ケ冠詞ト  
六 五

百五十一章 アヌ或ハエ及ビズ井  
一 二 三 四 五

何ントラル、カズ井ハ名付ケ  
二 四 一 三 四

百五十二章 ズ井ハラル、時トシテハ  
一 六 二

名付ケ定冠詞ト如何ントナレバ故ニ其ハ  
五 三 四 七 九 八

指示ス或ル極タル乃チ格段ナル目的ヲ  
十四 九 十 十一 十二 十三

譬ヘバズ井マンズ井ハウスハ徹シツ、  
十六 十七 十八 十九 廿 廿六

或ル格段ノ男或ハ家ヲ  
廿一 廿二 廿三 廿四 廿五

何ントラル、カアヌ或ハエハ名付ケ  
四 六 一 二 三 五

百五十三章 アヌ或ハエハ時トシテハ  
一 二 三 四

ラル、名付ケ不定冠詞ト如何トナレバ故ニ  
八 七 五 六 九 十九

其、為リ又指示スヲ何ノ極リタル乃チ  
十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

格段ノ目的ヲ譬ヘバエマシエハウスハ  
十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

徹ハリ又格段ナル男或ハ家ヲ  
廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八

如何ナル辞ガラル、カ名付物數形容詞ト  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

百五十四章 助様ナル言辞ガ通り  
九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

三第一等第二等第三等ノラル、時トシテハ  
三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

名付物數形容詞ト  
十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

何デアルカ規則ノ向テノ形容詞ニ  
四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

百五十五章 規則形容詞ハ名状スル  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

實名詞 及ビ 代名詞ヲ 譬ヘバ 甘キ 林檎  
二 三 四 六 七 八

彼ハ アル 善ク  
九 十一 十

井ニハ 形容詞ガ ラル、 用ヒ 無ニ 實名詞  
六 一 五 四 三 二

ドノ様ニ 得ルカ 其ガ カレ 解剖  
七 十一 八 十 九

百五十六章 其レハ 得ル カレ 解剖 シテ  
一 六 五 四 三

實名詞ト 譬ヘバ 悪人ハ 滅スル ソコデハ  
二 七 八 九 十

ウ井キドハ ラル、 用ヒ レテ 實名詞ト 而ノ  
十一 十五 十四 十三 十二 十

アル 主格デニ 滅スル  
二 十九 十八 十七

於テ 如何ナル 他ノ 仕方ニ 得ルカ 其ガ  
四 一 二 三 八 五

カレ 解剖  
七 六

百五十七章 其レガ 得ル カレ 解剖 シテ  
一 八 七 六 五

名状スルコト 實名詞ヲ 有トシラレタル 譬ハ  
四 三 二 九

於テ 文章ニ 總テハ 子バナラヌナル 死ナ  
十四 十三 十 十二 十一

總テハ 得ル 名状シ メンヲ 有トシラレタル  
十四 十九 十八 十七 十六 十八

此ト如ク 其ハ 讀ム 總ノ人ハ 子バナラヌト  
十四 十五 十六 十七 十八 十九

何ガ ル、カ 徴ヲ 由テ 辞ニ ランドルスツ  
八 十 九 七 六 五

ドナル タル 用ヒラレ 於テ 解剖ニ  
四 三 二 一

百五十八章 其レガ 得ル カレ 給無ニ  
八 一 七 六 五 四

其レガ 意味ヲ 其ガ ル、云ハ ビクアル  
三 二 九 十四 十三 十二 十一

有トシラレテ 譬ヘバ 於テ 文章ニ 總テハ  
十 十五 十六 十九 十六

子バナラヌナル 死ナ メンガ カル、 有ルト  
十八 十七 十六 十五 十四

後ニ 總ノ 而ノ 得ル カレ 給 如何トナレバ 故ニ  
十三 十二 十六 十九 十八 十七 二十 十七

其ハ 徴大 總ノ人ハ 子バナラヌヲ 死ナ  
十三 十六 十七 十八 十九 二十

第四 動詞

其レノ持物及ビ關係

如何ナル持物ヲ為スカ動詞ハ持ツテ

百五十九章 動詞屬ス人稱單複法

及ビ時ガ

人稱及ビ數

為スカ人稱及ビ數ハ本當屬スルヲニ

動詞

百六十章 彼等ハ為リ又如何トナレバ故

余輩ハ能ハス云ヒト動詞ガ表ス人ヲ

語ス或ハ語カケラレタル亦ク又ト其ガ

做ス一ツ或ハ以上ヲ一ツ

何故ニ然ラベルカ動詞ガ云ハベク

持ツ此等ノ持物ヲ

百六十一章 為メニ示ス彼等ノ結付キテ

與彼等ノ主格動詞ガル云ハベク持ツ

同ノ人稱及ビ數ヲ夫ヲ所ノ彼等ガ持ツ

於テ如何ナル人稱及ビ數ニアルカ

動詞ハ於テ文章ニ

余愛スナル返答口ヲアハアル

人稱單數デ如何トナレバ故ニ其ノ主格ガ

イナルアル



彼ハ 愛スナル 返答 ロチアスハ アル 三  
一 二 三 四 五 九

人稱 單 數デ 如何トナレバ 故ニ 其ノ 主格  
六 七 八 十 十五 十二 十三

ヒトナル アル  
十一 十四

余輩ハ 愛スナル 返答 ロチアスハ アル 一  
一 二 三 四 五 九

人稱 複 數デ 如何トナレバ 故ニ 其ノ 主格  
六 七 八 十 十五 十二 十三

ウイナル アル  
十一 十四

何デ 然ラバ アルカ 規則ハ 向テノ 動詞  
九 七 六 二

及ビ 其ノ 主格ニ  
三 四 五

百六十二章 規則 動詞ハ セ子バナラヌ  
十一

符合 與 其レノ 主格 於テ 人稱 及ビ 數  
十 九 六 七 八 五 二 三 四

譬ハ 余ハ 愛ス 彼ハ 愛ス  
十二 十三 十四 十五 十六

時

何ヲ 為スカ 辞ハ テニスナル 徴スヲ  
三 五 二 四

百六十三章 辞ハ テニスナル 徴ス 時ヲ  
二 一 四 三

何ヲ 為スカ 時ハ ノ 動詞 表ハスヲ  
四 六 三 二 一 五

百六十四章 時ハ ノ 動詞 表ス 時ヲ 於テ  
三 二 一 十六 四 五 六

夫一 所ノ 働キ 或ハ 有様ガ ノ 有在 サルハ  
五 十四 七 八 十一 十 九 十三

言頭ハ 譬ハ  
十二 十七

余ハ 學ブ (今)  
二

余ハ 學ビシ (昨日 或ハ 於テ 或ル 過去タル  
二 一 二 六 五 四

時ニ)  
五

余ハ デアロヲ 學ブ (明日 或ハ 於テ 或ル  
一 三 二 一 二 六 三

後來ノ 時ニ)  
四 五

幾個 而ノ 何デ アルカ 重モナル 分チハ  
五 六 七 八 三 四

ノ 時  
二 一

百六十五章 ソコニ アル ヲツノ 重ナル  
一 七 四 五

分チガ ノ 時 現在 過去 未来  
六 三 二 八 九 十

如何ナル 時ガ 顯スカ 此等ノ 分チヲ  
二 五 三 四

百六十六章 現在ガ 表シツ、 現在ノ 時ヲ  
一 四 二 三

過去ガ 表ハシツ、 時ヲ 過去タル 而ツ  
一 四 三 二 五

未来ガ 表ハシツ、 時ヲ 来ル  
一 五 四 三 二

デアロチカ 汝ハ 與ユル 三ノ 重ナル 時ヲ  
十九 一 十八 八 九 十

頭ス所ノ ヲツノ 一般ノ 分チヲ ノ 時 於テ  
七 四 五 六 三 二 七

動詞ニ ツロチア 及ビ ツスデ | ナル  
十六 十一 十二 十三 十四 十五

百六十七章

現在 余ハ 愛ス  
一 二

過去 余ハ 愛セシ  
一 二

未来 余ハ デアロチ 或ハ デアロチ 愛ス  
一 三 四 五 二

現在 余ハ 學ブ  
一 二

過去 余ハ 學ビシ  
一 二

未来 余ハ デアロチ 或ハ デアロチ 學ブ  
一 三 四 五 二

現在

何ヲ 為スカ 現在ハ 表ハスタ  
二 四 一 三

百六十八章 現在ハ 表ス 現在ヲ 譬ヘバ  
一 三 二 四

余ハ 學ブ 彼ハ 書ク  
五 六 七 八

デアロチカ 汝ハ 與ル 現在ヲ ノ 動詞 ツ  
十四 一 十三 十二 十一 十 八

ヲフナル 於テ 其ノ種々ノ人稱 及ビ 數  
九 七 二 三 四 五 六

百六十九章

單數

一人稱 余ハ 愛ス  
一 二

二人稱 汝ハ 愛ス 或ハ 汝ハ 愛ス  
一 二 三 四 五

三人稱 彼 彼 或ハ 其ハ 愛ス 或ハ 愛ス  
一 二 三 四 五 六 七

複數

一 余輩ハ 愛ス  
一 二

二 汝等ハ 愛ス  
一 二

三 彼等ハ 愛ス  
一 二

過去

如何ナル 部分ヲ ノ 時 為スカ 過去ハ  
三 四 二 一 七 五

込ノルヲ  
六

百七十章 彼等ハ 込ル 總テ 其ノ 部分ヲ  
一 二 三 四 五 六 七

ノ 時 夫ハ 所ノ アル 過去リテ  
三 七 十 九 八

幾個ノ 過去ガ 得ルカ ソコニ アリ  
一 二 三 四 五

百七十一章 ソコニ 得ルアリ 過去ガ 向テ  
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

各ノ 瞬時ニ ノ 過去タル 時 然レモ 便利ガ  
五 六 四 二 三 十一 十二

要ス 云有テ 數ガ デアアヲトルハ 限ラ  
八 七 十三 十六 十五 十四

幾個ノ 過去ガ アルカ ソコニ  
一 二 三 四 五

百七十二章 ソコニ アルニツノ 過去ガ  
一 二 三 四 五

第一ノ 過去 第二ノ 過去 及ビ 第三ノ 過去  
五 六 七 八 九 十 十一

第一ノ過去

何ヲ為スカ 第一ノ過去ハ表ハスヲ  
三 五 一 二 四

百七十三章 第一ノ過去ハ表ハス時ヲ  
一 二 十三 十四

過去タル無ニ關係ニ何ノ格段ナル部分  
十一 十 九 八 五 十六 七

ノ其レ譬ヘバ  
四 三 十四

彼ハ學ビシ(昨日或ハ前ノ一週間或  
一 二 三 四 五

數年前)或ハ其ガ顯ス働キ或ハ事情ヲ  
六 七 八 三 四 十四 五 六 七

シテ進行クト於テ或ル時ニ過去タル  
十三 十四 十五 九 十 十一 八

譬ヘバ彼ハアリシ學デ片ニ鐘ガ響キシ  
十五 十六 十七 十八 十九 二十

與ヘヨ 第一ノ過去ヲノツロヲフ  
六 四 五 三 一 二

百七十四章

單數

一人稱 余ハ愛セシ  
一 二

二人稱 汝ハ愛セシ或ハ汝ハ愛セシ  
一 二 三 四 五

三人稱 彼彼ノ女或ハ其ハ愛セシ  
一 二 三 四 五

複數

一 余輩ハ愛セシ  
一 二

二 汝等ハ愛セシ  
一 二

三 彼等ハ愛セシ  
一 二

第二ノ過去

何ヲ為スカ 第二ノ過去ハ表スヲ  
三 五 一 二 四

百七十五章 第二ノ過去ハ表ス過去ヲ  
一 二 七 六

充分サレタル於テ現在ニ譬ヘバ余ハ夕  
五 四 三 八 九 十

學シ (便チ 於テ 此ノ 瞬間ニ 習學ガ アル  
十 一 四 二 三 五 七

為サレテ) 余ハ 夕 書イ (於テ 此ノ 時ニ  
六 十二 十四 十三 三 一 二

書記ガ アル 成就サレテ)

與ヘヨ 第二ノ 過去ヲ ノ ツ ロ ナ ブ  
六 四 五 三 一 二

百七十六章

單數

一人稱 余ハ 夕 愛シ  
一 三 二

二人稱 汝ハ 夕 愛シ 或ハ 汝ハ 夕 愛シ  
一 三 二 四 五 七 六

三人稱 彼 彼ノ 女 或ハ 其ハ 夕 愛シ  
一 二 三 四 六 五

複數

一 余輩ハ 夕 愛シ  
一 五 二

二 汝等ハ 夕 愛シ  
一 三 二

三 彼等ハ 夕 愛シ  
三 二

第三ノ 過去

何ヲ 為スカ 第三ノ 過去ハ 表ハ ス ヲ  
三 五 一 二 四

百七十七章 第三ノ 過去ハ 表ハ 過去ヲ  
一 二 十 九

先キ 立ツ ニ 或ル 他ノ 過去 關係サレタル  
八 七 四 五 六 三

譬々 余ハ 夕 書イ 學シ (前ニ 余ガ レシ 促ヲ)  
十一 十二 十四 十三 四 一 三 二

余ハ 夕 書イ (前ニ 余ガ 見シ 汝ヲ)  
十一 十二 十四 四 一 三 二

與ヘヨ 第三ノ 過去ヲ ノ ツ ロ ナ ブ  
六 四 五 三 一 二

百七十八章

單數

一人稱 余ハ 夕 愛シ  
一 三 二

二人稱 汝ハタリシ愛シ或ハ  
一 三 二 四

汝ハタリシ愛シ  
五 七 六

三人稱 彼彼ノ女或ハ其ハタリシ愛シ  
一 二 三 四 六 五

複數

一 余輩ハタリシ愛シ  
一 三 二

二 汝等ハタリシ愛シ  
一 二 二

三 彼等ハタリシ愛シ  
一 三 二

未來

如何ナル部分ヲノ時爲スカ未來ハ  
三 四 二 一 七 五

込ノルヲ  
六

百七十九章 彼等ハ込メル總テ其ノ  
一 十二 二 三十

部分ヲ夫ハ所ノアルベク來ル  
四 一 五 九 八 七 六

幾個ノ未來が得ルカソコニアリ  
二 五 三 四

百八十章 ソコニ得ルアリ一ツが向テ  
八 七 六 五

各ノ未來ノ瞬時ニ  
二 三 四

幾個ノ未來がアルカソコニ而シ何ト  
一 二 四 五 七

ラルカ彼等ハ名付ケ  
九 六 八

百八十一章 ソコニアル二個ノ未來が  
一 十 八 九

名付ケラレタル第一ノ未來及ビ第二ノ  
七 二 三 四 五

未來ト  
六

第一ノ未來

何ヲ爲スカ第一ノ未來ハ表ハスヲ  
三 五 一 二 四

百八十二章 第一ノ未来ハ表ハス時ヲ

ベキ来ル無ニ關係ニ何ノ格段ナル部分  
十二 十一 十 九 八 五 六 七

ノ其レ譬ヘバ余ハデアロチ學ブ彼ハ  
四 三 十五 十六 十八 十七 十九

デアロチ書ク  
廿一 廿

與ヘヨ第一ノ未来ヲノツロチブ  
六 四 五 三 一 二

百八十三章

單數

一人稱 余ハデアロチ愛ス  
一 三 二

二人稱 { 汝ハデアロチ愛ス或ハ  
一 三 二 四

{ 汝ハデアロチ愛ス  
五 七 六

三人稱 { 彼ハ彼ノ女ハ或ハ  
一 二 三

{ 其ハデアロチ愛ス  
四 六 五

複數

一 余輩ハデアロチ愛ス  
一 三 二

二 汝等ハデアロチ愛ス  
一 三 二

三 彼等ハデアロチ愛ス  
一 三 二

第二ノ未来

何ヲ爲スカ第二ノ未来ハ表ハスナ  
三 五 一 二 四

百八十四章 第二ノ未来ハ表ス未来ヲ  
一 二 十二 三十一

夫ハ所ノアル前ニ或ル他ノ未来ノ譬ハ  
四 十 九 八 五 六 七 十三

余ハデアロチ夕學余ノ課ヲ(前ニ或ハ  
十四 十九 十八 十七 十五 十六 四 五

トニ彼ガデアロチ到着スル)  
六 一 三 二

與ヘヨ第二ノ未来ヲノツロチブ  
六 四 五 三 一 二

百八十五章

單數

一人稱 余ハデアロテ夕愛シ  
一 四 三 二

二人稱 { 汝ハデアロテ夕愛シ或ハ  
一 四 三 二 五

汝ハデアロテ夕愛シ  
六 九 八 七

三人稱 { 彼ハ彼ノ女ハ或ハ其ハ  
一 二 三 四

デアロテ夕愛シ  
七 六 五

複數

一 余輩ハデアロテ夕愛シ  
一 四 三 二

二 汝等ハデアロテ夕愛シ  
一 四 三 二

三 彼等ハデアロテ夕愛シ  
一 四 三 二

デアロテカ 汝ハ與ユル種々ノ時ヲノ  
九 一 八 六 七 五

動詞 ツレツルンナル

四 二 三

現在

單數

一人稱 余ハ習フ  
一 二

二人稱 { 汝ハ習フ或ハ  
一 二 三

汝ハ習フ  
四 五

三人稱 彼ハ習フ  
一 二

複數

一 余輩ハ習フ  
一 二

二 { 汝等ハ習フ或ハ  
一 二 三

汝等ハ習フ  
四 五



三 彼等ハ習フ

第一ノ過去

單數

一 余ハ習ヒシ

二 汝ハ習ヒシ 或ハ

四 汝ハ習ヒシ

三 彼ハ習ヒシ

複數

一 余輩ハ習ヒシ

二 汝等ハ習ヒシ 或ハ

四 汝等ハ習ヒシ

三 彼等ハ習ヒシ

第二ノ過去

單數

一 余ハ夕習フ

二 汝ハ夕習フ 或ハ

五 汝ハ夕習フ

三 彼ハ夕習フ

複數

一 余輩ハ夕習フ

二 汝等ハ夕習フ 或ハ

五 汝等ハ夕習フ

三 彼等ハ夕習フ

第三ノ過去

單數

一 余ハ タリシ 習フ

二 { 汝ハ タリシ 習フ 或ハ

汝ハ タリシ 習フ

三 彼ハ タリシ 習フ

複數

一 余輩ハ タリシ 習フ

二 { 汝等ハ タリシ 習フ 或ハ

汝等ハ タリシ 習フ

三 彼等ハ タリシ 習フ

第一ノ未来

單數

一 余ハ デアロテ 或ハ デアロテ 習フ

二 { 汝ハ デアロテ 或ハ デアロテ 習フ 或ハ

汝ハ デアロテ 或ハ デアロテ 習フ

三 彼ハ デアロテ 或ハ デアロテ 習フ

複數

一 余輩ハ デアロテ 或ハ デアロテ 習フ

二 { 汝等ハ デアロテ 或ハ デアロテ 習フ 或ハ

汝等ハ デアロテ 或ハ デアロテ 習フ

三 彼等ハ デアロテ 或ハ デアロテ 習フ

第一ノ未来

單數

一 余ハ デアロテ 或ハ デアロテ タ 習フ

三 汝ハデアロヲ或ハデアロヲ夕習フ或ハ  
 一 四 五 六 三 二 七  
 汝ハデアロヲ或ハデアロヲ夕習フ  
 一 四 五 六 三 二  
 三 彼ハデアロヲ或ハデアロヲ夕習フ  
 一 四 五 六 三 二

複數

一 余輩ハデアロヲ或ハデアロヲ夕習フ  
 一 四 五 六 三 二  
 二 汝等ハデアロヲ或ハデアロヲ夕習フ或ハ  
 一 四 五 六 三 二 七  
 汝等ハデアロヲ或ハデアロヲ夕習フ  
 一 四 五 六 三 二  
 三 彼等ハデアロヲ或ハデアロヲ夕習フ  
 一 四 五 六 三 二

法

何ヲ為スカ辞ハモイドナル微スタ  
 三 五 二 一 四  
 百八十六章 辞ハモイドナル微ス仕方ヲ  
 二 一 四 三

譬ハ片ニハ余ガ云フ余ハ好ムト彼ノ  
 五 十五 廿五 十三 十四 十六 十二 七  
 法ヲノ為ス一職業ヲ或ハ余ハ好ムト  
 一 十 九 八 十六 十七 廿二  
 彼ノ法ヲノ慕シ余ハ微ス余ハ好ムヲ  
 十八 廿 廿九 卅 卅一 卅二 卅三  
 彼ノ仕方ヲノ為ス一職業ヲ或ハ余ハ  
 卅七 卅八 卅九 卅十 卅一 卅二 卅三  
 好ムヲ彼ノ仕方ヲノ慕シ  
 卅四 卅五 卅六 卅七 卅八

何ヲ然ラバデアロヲカ余輩ハ曉解スル  
 七 十一 九 二 八  
 由テ法ニノ動詞  
 六 五 四 三

百八十七章 法ハノ動詞表ハス仕方ヲ  
 三 二 一 卅 卅一 卅二 卅三

於テ夫レニ所ノ働キ或ハ有様ガノ存在  
 六 五 十四 七 八 十一 十 九

ル言頭ニ譬ハ片ハ余輩ガ云フ彼ハ  
 十三 十二 十七 廿二 廿 廿一 十八

愛スト余輩ハ話ス付テ愛スル一ニ於テ  
 十九 廿三 卅九 卅八 卅七 卅六

直チノ仕方ニ而シテ片ニハ余輩ガ云フ  
 卅四 卅五 卅六 卅七 卅八 卅九

若シモナラバト 彼ガ愛ス 余輩ハ 話ス 付テ  
三十一 三十四 三十二 三十三 三十八 四十四 四十一

其ノ一ニ 於テ 疑ハシキ 仕方ニ  
四十二 四十一 三十九 四十

幾個ノ 而シテ 如何ナル 法ヲ 為スカ 動詞ハ  
一 二 三 四 七 五

持ツテ  
六

百八十八章 動詞ハ 持ツ 六個ノ 法ヲ  
一 四 二 五

直説 成就 疑問 命令 不定 及ビ 分詞  
五 六 七 八 九 十 十一

直説 法  
三

於テ 文章ニ 余ハ 學ブ 余ハ デアロヲナル  
七 六 一 二 五 五

學ブ 於テ 如何ナル 仕方ニ ルカ 勸キガ  
四 十 八 九 十五 十三

人 學ブ 言頭サ  
十二 十一 十四

百八十九章 於テ 直チノ 仕方ニ 只 示シ  
三 十 二 四 十二

乃チ 著ハシツハ 實事ヲ 云フノ 余ハ 學ブ  
十三 十四 十一 十 五 六

或ハ デアロヲト 學ブ  
七 九 八

何ヲ 為スカ 辞ハ イシガカチナル 徴スヲ  
三 五 二 一 四

百九十章 言辭ハ イシガカチナル 徴ス  
三 一 六

示ス 指示ス 指示スヲ  
三 四 五

向テ 何ニ ラルカ 直説 法ハ 用ヒ  
二 一 六 三 四 五

百九十一章 直説 法ハ ラルカ 用ヒ 向テ  
一 二 八 七 九 六

著ハス 乃チ 指示ス 譬ハバ 汝ハ 愛ス  
五 四 五 九 十 十一

余ハ デアロヲ 行ク 而シテ 向テ 問フニ 疑ヲ  
十二 十四 十五 十五 十八 十七 十六

譬ハ 為スカ 汝ハ 愛スヲ デアロヲカ 余ハ  
九 十四 十二 十三 十七 十五

行ク  
十六

何デ アルカ 大意ハ 此ノ 法  
五 七 四 五 三 一 二

百九十二章 其ハアル夫デノ著ハス  
一 五 四 三 二

成就法

於テハ文章ニ余ハ能フナル學ビ於テ  
五 四 一 三 二 八

如何ナル仕方ニルカ働キガノ學ブイ  
六 七 十一 十 九

言頭ハサ  
十二

其ガル、頭サレテアルト出来ベク  
一 六 五 四 三 二

便チ余ハアル適當レテイニ學ブ  
七 八 十二 十一 十 九

何ヲ為スカ辞ハポテンシャルナル徴ス  
三 五 二 一 四

百九十三章 辞ハポテンシャルナル徴ハス  
二 一 七

適當レタル乃チ持ツヲカラ  
三 四 六 五

何ヲ為スカ成就法ハ表ハスヲ  
三 五 一 二 四

百九十四章 成就法ハ表スカ出来ベキ  
一 二 十一 三 四

自由責ノ職掌必要傾キ決定ヲ譬ハ余ハ  
五 六 七 八 九 十 十二 十三

能フ學ビ余ハ子バナラス學バ余ハ能ヒシ  
十五 十四 十六 十八 十九 二十

學ビ等 其ガ得ル亦タラレ用ヒ向テ  
廿 廿二 廿三 廿四 廿五 廿八 廿七

問フイニ疑ヲ譬ハ得ルカ余ハ學ビ  
廿六 廿五 廿一 廿四 廿二 廿三

何デアルカ大意ハ此ノ法  
六 七 四 五 三 一 二

百九十五章 其ハアル夫デノ力乃チ  
一 七 六 五 二 三

能  
四

疑問法

於テ文章ニ彼ハデアロヲナル覺エル  
九 八 五 七 六

若モナラバ彼ガ學ブ於テ如何ナル仕方ニ  
一 四 三 十二 十 十一

ル、カ 働キガ ノ 學ブイ 言頭ハサ  
十七 十五 十四 十三 十六

其ガ ル、 頭ハサ 於テ 疑ハシキ 仕方ニ  
一 六 五 四 二 三

其ノイハ アリツ、 不慥カニ ドチラカカノ  
十四 十六 十五 十七 十五

彼ハ 學ブ又ハ 學バヌ  
八 九 十一 十二

ニ 如何ナル 他ノ 動詞 ラル、カ ス左デ  
四 一 二 三 十二 五

於テ 文章ニ 與ラレタル 附加ヘ 乃チ 附添ヘ  
八 七 六 九 十 十一

ス左デ「ハ」ラル、 附ケ添ヘ ニ 動詞  
一 六 五 四 三

以ルンナル 而ノアル 従屬シテ 其レニ  
二 七 十 九 八

何ヲ 為スカ 辞ハ シブダシクナナル 徴ス  
三 五 二 一 四

百九十六章 言辞ハ シブダシクナナル  
二 一

徴スニ 附添ヘラル、ヲ  
四 三

何ヲ 為スカ 疑問法ハ 表ハスヲ  
三 五 二 四

百九十七章 疑問法ハ 表ハス 疑或或ハ  
一 二 六 三 四

約束ヲ 而ノラル、 附ケ添ヘ ニ 他ノ 動詞  
五 七 十二 十一 十 八 九

譬ハ 余ガデアロヲ 行ク 若モナラバ 汝ガ  
十三 十九 廿一 廿 十四 十八 十五

要スル 余ヲ  
十六 十八

ドノ様ニシテ 得ルカ 取ガノ 直説 及ビ  
一 十二 七 六 二 四

成就法ニナリ 取チノ 疑問法  
四 五 十二 廿一 九 八

百九十八章 由テ 置クイニ 前ニ 彼等ノ  
九 七 六

接續詞ヲ 表ハス 所ノ 不切實 或ハ 約束ヲ  
五 四 二 三

譬ハ 若モ云々スルナラバ 縫合ヒ云々スルト 雖モ  
十 十一 十二

云々スルニ非ザレハニ 非ザレバ 云々ヒヌ 為ニ  
十三 十四 十五

譬ハ 若モナラバ 余ガ 學ブ 若モナラバ  
十六 十八 廿一 十九 廿 廿二 廿六

余ガデアロヲ 學ブ 等  
十三 十四 廿四 廿

命令法

於テハ文章ニ學ベナル汝ノ程課ヲ於テ  
五 四 三 一 二 八

如何ナル仕方ニラル、カ動詞ガ學ブナル  
六 七 十 九

用ニ  
十

其ハラル、用ニ、バク傳ヘル命令ヲ  
一 六 五 四 三 二

何ヲ為スカ辞ハイムペラチフナル徴ス  
三 五 二 四

百九十九章 辞ハイムペラチフナル徴ス  
二 一 四

命スルヲ  
二

向テ何ニラル、カ命令法ハ用ヒ  
二 一 六 五 四 五

二百章 命令法ハラル、用ヒ向テ命シ  
一 二 十 九 八 三

戒メ願ヒ及ビ許スヲ譬ヘバ束タレニ  
四 五 六 七 十 十一 十二

余向クカラ惡見捨ル余ヲテ行ケ於テ  
二 七 十六 十五 十九 十八 廿 廿二 廿

平和  
二

何テアルカ大意ハ言出サレタル由テ  
二 十二 十 十一 九 八

此ノ動詞ニタル指示サレ由テ此ノ名ニ  
六 七 五 四 三 一 二

二百章 夫ノ命令  
二 一

不定法

於テハ文章ニ彼ハ變スナル一ヲ學ブ  
六 五 十一 四 三 二

於テ如何ナル仕方ニラル、カ働ガノ學ブ  
九 七 八 十四 十二 十一 十

頭ハ  
十五

其ガル、頭リ於テ一般ノ仕方ニ無ニ  
一 十八 十一 十六 十四 十五 四

何ノ主格而メ夫レ故ニ無ニ何等ノ限リ  
二 五 五 六 十二 十一 十二

ノ人稱スハ數  
十 七 八 九

何ヲ為スカ辭ハインヘ子チフナル徵スヲ  
三 五 二 一 四

二百二章 辭ハインヘ子チフナル徵ハス  
二 一 五

無キヲ限り  
四 三

向テ何ニラルカ不定法ヘ用ヒ  
二 一 六 五 四 五

二百三章 不定法ハラルカ用ヒ為メニ  
一 二 十六 十五 十四

言出ス働或ハ有様ヲノ存在於テ一般ノ  
十二 二 四 七 六 五 十一 八

而ノ限リナキ仕方ニ譬ヘバベク生活ス  
九 十 十一 十七 十九 十八

ベク覺エルベク學ブ其ハ決シテス  
廿 廿三 廿二 廿四 廿五 廿八

持タ主格ヲ  
廿七 廿六

如何ナル他ノ部分ヲノ語為スカ不定  
一 二 三 四 五 六

法ノ一般ニ繼グヲ  
七 八 九

二百四章 不定法ハ一般ニ繼グ動詞  
一 二 七 三

實名詞或ハ形容詞ヲ兩ノルカ夫レ故ニ  
四 五 六 八 十六 九

六ハベクサレカ支配由テ彼等ニ譬ヘバ  
十五 十四 十三 十二 十一 十 十七

彼ハ愛ス一ヲ遊ブ余ハアル於テ急切ニ  
十八 廿一 廿 十九 廿二 廿七 廿六 廿五

一ニ行ク彼ノ女ハアル遅ク一ニ覺ユル  
廿四 廿三 廿八 三十一 三十 三十一 廿九

何デ然ラバアルカ規則ハ向テ不定法ニ  
五 一 六 四 三 二

二百五章 規則不定法ハサルカ一般ニ  
一 二 十 三

支配由テ動詞實名詞或ハ形容詞ニ譬ハ  
九 八 四 五 六 七 十一

彼ハ勤ム一ヲ覺ル彼ハアル於テ急キニ  
十二 十四 十四 十三 十六 廿一 廿 十九

一ニ行ク余ハアル遅ク一ニ死スル  
十八 十七 廿二 廿六 廿五 廿四 廿三

分詞法又ハ分詞  
一 二 三



於テハ 文章ニ 童男ハ アルナル 學ンデ  
五 四 一 三 二

於テ 如何ナル 仕方ニ ラル、カ 言辞ハ  
八 六 七 十二 十

ス者デ | イングナル 用ヒ  
九 十一

其レハ ラル、用ヒ シテ 動詞ト ガ故ニ  
一 五十八 四十五 二 二 九

其ハ 言出ス 働キ 而シテ 形容詞ト  
六 八 七 十 十一 十六 十五

名状スル 野ノ 實名詞ヲ ボイナル  
十四 十五 十一

何ヲ 為スカ 辞ハ バルチシアルナル 徴スヲ  
三 五 二 一 四

二百六章 辞ハ バルチシアルナル 徴ハス  
二 一 四

分ク前ヲ 取ルヲ  
三

何デ 然ラバ アルカ 介詞 又ハ 介詞 法ハ  
六 一 七 二 三 四 五

二百七章 介詞 又ハ 介詞 法ハ アル 其ノ  
二 三 四 五 六 七

形チデ ノ 動詞 夫ハ 野ノ 分ク前ヲ 取ルノ  
八 廿一 六 五 九 廿 十九 十八

性質 両方ノ 動詞 及ビノ 形容詞 譬ヘバ  
十七 一 十二 十一 十四 十六 十五 廿四

鳥ガ 飛ドウ、消失セシ 家ガ サレツ、打崩  
十五 廿六 廿七 廿八 廿九 卅

アリシ 全キ 損亡デ  
卅三 卅一 卅二

ドノ様ニ サル、カ 分詞ハ 解剖  
四 二 三

二百八章 其ハ サル、解剖 ノ如ク 形容詞  
十四 十三 十一 十

シテ 名状スル イト 實名詞ヲ = 夫野ノ 其ガ  
十 九 二 八 四 三 七 五

物ル 於テ 文章ニ 鳥ガ 飛ツ、消失セシナル  
六 九 八 十五 十六 十七

分詞ハ フライイングナル 名状ス ボルツチ  
七 廿 廿五 廿二

他動 及ビ 受動 態  
三 四 五

何ガ ル、カ 徴サ 由テ 他動 態ニ ノ 動詞  
六 八 七 五 二 四 二 一

二百九章 他動 態ハ アル 其ノ 形デ ノ  
二 十五 五 六 六 四

動詞 於テハ 夫ニ所ノ主格が表ハス働者ヲ  
三 八 七 九 十 十

譬ヘバ ジヌハ 打ヲシセトムステ フコデハ  
十六 十七 十九 十八 廿

ストリヲクハ アル 於テ働キカケノ態ニ  
廿一 廿四 廿二 廿三

何ガル、カ 徴ハサ 由テ受動態ニ  
四 六 五 三 二

二百十章 受動態ハアル 其ノ形デノ  
一 二 九 五 六 四

動詞 於テハ 夫ニ所ノ主格が頭ス受ケ者  
三 八 七 九 十 十一

乃チ受者ヲノ働キ譬バ セイムスハレシ  
十二 十四 十一 廿 廿一 廿二

打タ 由テ ジヌニ フコデハ 多ズ ストリヲクハ  
廿四 廿五 廿二 廿六 廿七 廿八

アル 於テ受ケ身ノ態ニ  
三十 三十一 廿九 三十

何故ニラル、カ 此ノ形ハ名付ケ受動ト  
一 六 二 五 四

二百十一章 如何ニトナレバ故ニ言辭ハ  
十九 三

パシフナル 徴ハス 受ルヲ 而シテ 此ノ態ハ  
三 四 六 七 八

表ハス 受ルヲ 乃チ 受ルヲ 付テ 働キニ  
十八 十五 十六 十七 十四 十三

如ク 於ケル 次ノ例ニ  
十二 十一 九 十

他動態 受動態  
一 二 一 二

ベク 愛ス べクラル 愛セ  
二 一 三 二 一

ベク 呼ブ べクル 呼バ  
二 一 三 二 一

ベク 殺ス べクル 殺サ  
二 一 三 二 一

ジヌハ 愛ス ジヌハラル、愛セ  
一 二 一 三 二

アトニハ 呼ビシ アトニハレシ 呼バ  
一 二 一 三 二

如何ナル 部類ノ動詞 為スカ 區別ハ  
五 三 四 二 十四 十二

ノ他動 及ビ 受動態 適當スルヲ  
十一 六 八 九 七 十三

二百十二章 自達動詞 唯以テ 二個  
九 七 八 六 五 一

或ハ 三個ノ 取除ケテ  
二 三 四

規則 及 ビ 不規則 動詞

何時 ル、カ 動詞ガ 云ハ ベクアル 規則デ

二百十三章 凡ニ 其カ 形作ル 其ノ 第一

過去 直説法 及ビ 其ノ 第一 過去 分詞ヲ

由テ 附加ルニ 一ニ 一ニ 或ハ 一ニ 一ニ 一ニ

現在 如シ 次ノ 物ノ

現在 第一過去直説法 第一過去分詞

愛ス 愛セシ 愛セシ

習フ 習ヒシ 習ヒシ

嘯ス 嘯セシ 嘯セシ

殺ス 殺セシ 殺セシ

何時 ル、カ 動詞ガ 云ハ ベクアル 不規則デ

二百十四章 凡ニ 其カ 爲サス 形作ルヲ

其ノ 第一 過去 直説法 及ビ 其ノ 第一 過去

分詞ヲ 由テ 附加ルニ 一ニ 一ニ 或ハ 一ニ 一ニ

如シ 於ケル 次ノ 辭ニ

現在 第一過去直説法 第一過去分詞

アル アリシ アリシ

見ル 見シ 見シ

教ル 教ヘシ 教ヘシ

行ク 行キシ 行キシ

助動詞

何ヲ為スカ言辭ハヲイダセレリナル  
三 五 二六 一

徴スヲ  
四

二百十五章 言辭ハヲイダセレリナル  
二 一

徴ス助ケルヲ  
四 三

何デアルカ助動詞ハ  
三 四 一 二

二百十六章 助動詞ハアル夫等デ由テ  
一 二 四七 三 十六 八

助ケニノ夫レ所ノ違フタル法及ビ時ガ  
七 六 五 十五 九 十 十一 十二

ラル、所作  
十四 十五

ドレデアルカ彼等ハ  
二 三 一

二百十七章 彼等ハアルトクブシルウ  
一 七 九 十 十一

メ|カシツ|及ビビ|デト共ニ彼等ノ  
十二 十三 十四 十五 十六 八 六

変化ハズハツドシウド等ナル而ノムストデ  
七 二 三 四 五 十八 十九 廿

夫ハ所ノ持タ一ツノヌ変化ヲ  
廿 廿五 廿三 廿一 廿四 廿二

連合ノ動詞  
三 二 一

何ヲ為スカ辭ハコンジュゲトナル徴スヲ  
三 五 二 四

二百十八章 辭ハコンジュゲトナル徴ス  
二 一 四

連合スルヲ  
三

何ガルカ徴ハリ由テ連合ニノ動詞  
七 六 四 三 二 一

二百十九章 其ハアル連合スルイデ於テ  
一 六 十五 五

一ツノ聯續サレタル観得ニ其レノ色々ノ  
二 三 四 十二 十五

部分ヲ通り法時數及ビ人稱  
十四 一 六 七 八 九 十

如何ナル簡畧ナル法ガノ連合スルヲ  
四 五 六 三 二

動詞ヲラルカ用ヒ於テ解剖ニ  
一 十 九 八 七

二百二十章 與ルイ其ノ重ナル部分ヲ

譬バ 愛ス 愛セシ 愛セシ 行ク 行キシ 行シ  
五 六 七 八 九 十 十一

附録 合野

Faint handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.



